

学校の授業にも展開できる「eポートフォリオ学習」
平成16年度情報教育校内リーダー養成講座【後期】演習

2004/11/25 版



eポートフォリオ入門

テキスト 前川道博（東北芸術工科大学）

「eポートフォリオ」ホームページ

<http://www.mmdb.net/eport/>

「PushCorn」ホームページ

<http://www.mmdb.net/pushcorn/>

お問い合わせ先

前川道博（東北芸術工科大学）

E-mail: maekawa@mmdb.net

目次

第1部 「ひとまず体験」編	3
学習のテーマを決めたらフィールドへ デジカメやビデオカメラで撮影しよう！ サイトを作ろう！ フォルダを作ろう！ 新しい分類フォルダに名前をつける 新しい地域フォルダに名前をつける ファイルをアップロードする アップロードできるファイルのいろいろ 画像は加工しなくていいの？ クリップを整理しよう！ トピックごとにカードを作ろう！ トピックの組み立て方 カードの作り方 カードに画像をはろう！ カードをフォルダに入れよう！ 作ったら次はいつも「ポップコーン」！ インターネットに公開しよう	
第2部 「ずーっと学習」編	23
「eポートフォリオ」に育てましょう！ PushCornで小さく作って、大きくまとめる サイト：作るときと見るときは順番が逆 サイトの作り方：ここがポイント！ フォルダの分け方はいろいろ 例えば... メディアファイルはどう扱うのか ムービーのサムネールを表示する方法 皆とネットでいつもいっしょに！	
第3部 レクチャー編	32
イントロダクション 興味引き出し法 「e」のアドバンテージ eポートフォリオは夢の実現 eポートフォリオ学習実践の事例とアイデア エコウォーク in 手賀 学校でeポートフォリオ～東根市立高崎小～ チャレンジキッズ（養護学校での実践事例） 子どもを育む教育のアイデア	

第1部「ひとまず体験」編

何ごとも最初は「ひとまず体験」から始まります。小さくても大きな第一歩。PushCornが一通り使えたら、心配いりません。忘れないうちに、二度、三度と繰り返し使ってみてください。「自分の永遠のテーマ」も見つかるはずです。



東北芸術工科大学公開講座 2002
「PushCorn ワークショップ【2】自然観察編」の一コマ

学習のテーマを決めたらフィールドへ

勉強…。何かつまらなそうなことばですね。ここでは「学習」と言うことにしましょう。

いろいろな発見があって、わくわくするような楽しいこと、ためになること。それが「学習」です。

本を読んだりすることだけが「学習」ではありません。自分で外に出て、いろいろなものに出会い、ふれたり見たりしたこともデジカメやビデオに撮ってきましょう。

ふだんいつも行っている場所でも、デジカメを持って行くと、いろいろなものがあることに気づきます。これからとても楽しい発見の世界が待っていますよ。



一人でいくよりも皆と一緒に行くとさらに楽しくなります。皆でどんなフィールドワーク（現地調査、野外調査）をしようかと考えるのも楽しみです。デジカメやビデオカメラを忘れずに！



フィールドワークから持ち帰った画像はパソコンへ。そしてPushCornでサイトを作ります。パソコンの前でも皆でわいわいがやがや楽しくやりましょう。いろいろな発見やアイデアがわいてきますよ。

デジカメやビデオカメラで撮影しよう！

テーマを決めたらフィールドへ。テーマを決めて出かけても、実際にはいろいろなものに目がいきます。面白いと思ったもの、「これ何だろう」と思ったものは、とにかくデジカメやビデオカメラで撮っておきましょう。

本で調べたりしてみましょ。どうしてもわからなければ誰かに教えてもらうこともできます。ここからまた発見の楽しみが広がります。

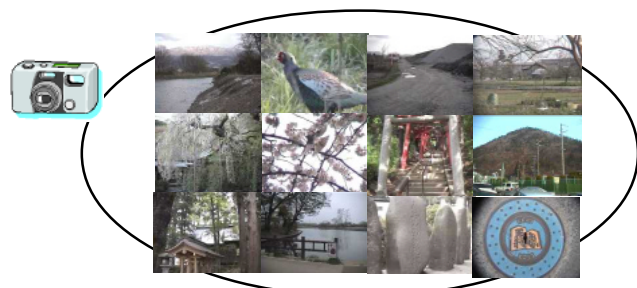


映像を撮ったら後で整理！

興味あるものをデジカメやビデオカメラで映像を撮るとホームページに載せることができます。写真のアルバムを整理するように、画像やビデオを整理しながら、興味のあることを一つ一つまとめていきます。ホームページづくりがさらに楽しくなります。

環境学習などではフィールドワーク（現地調査）が大切です。自然観察はフィールドワークそのものです。調べたことをしっかりとデジカメに撮って証拠写真として持ち帰りましょ。

フィールドワークで撮った画像



画像は情報のいずみです。

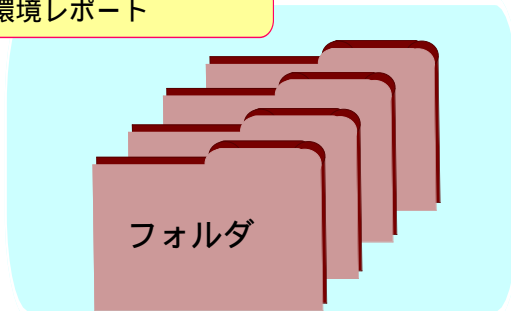


調べたこと、人から聞いた話、気づいたこと、考えさせられたことなどもあるはず...

サイトを作ろう！

ホームページ(ウェブサイト)と聞くと、ちょっと難しいと思っている人も多いのではないのでしょうか。PushCornでは、最初にサイトを作ります。サイトの中にこれからいろいろな情報を入れていきます。サイトはいくつでも作ることができます。なれるまでは何度でも作り直すつもりで、ともかくいろいろ試してみましょう。

環境レポート



自然の観察ノート



これから学習するテーマごとに新しいフォルダを作って名前をつけましょう。フォルダには、これから作るカードを入れます。

自分の PushCorn を開く！

ブラウザからあなたの PushCorn トップメニューのアドレス (URL) を入力して、「Top」を出します。

URL <http://www.mmdb.net/> あなたのユーザ ID/pushcorn/

URL はお使いの PushCorn サーバにより異なります。

ユーザ ID とパスワードを入力してください。

新規サイトを作る。

「新規サイトの作成」を選びます。

サイトに名前をつける。

「サイト名」には「kankyo」のように半角英数字で名前をつけます。

サイトタイトルには日本語で「環境レポート」のように名前をつけます。

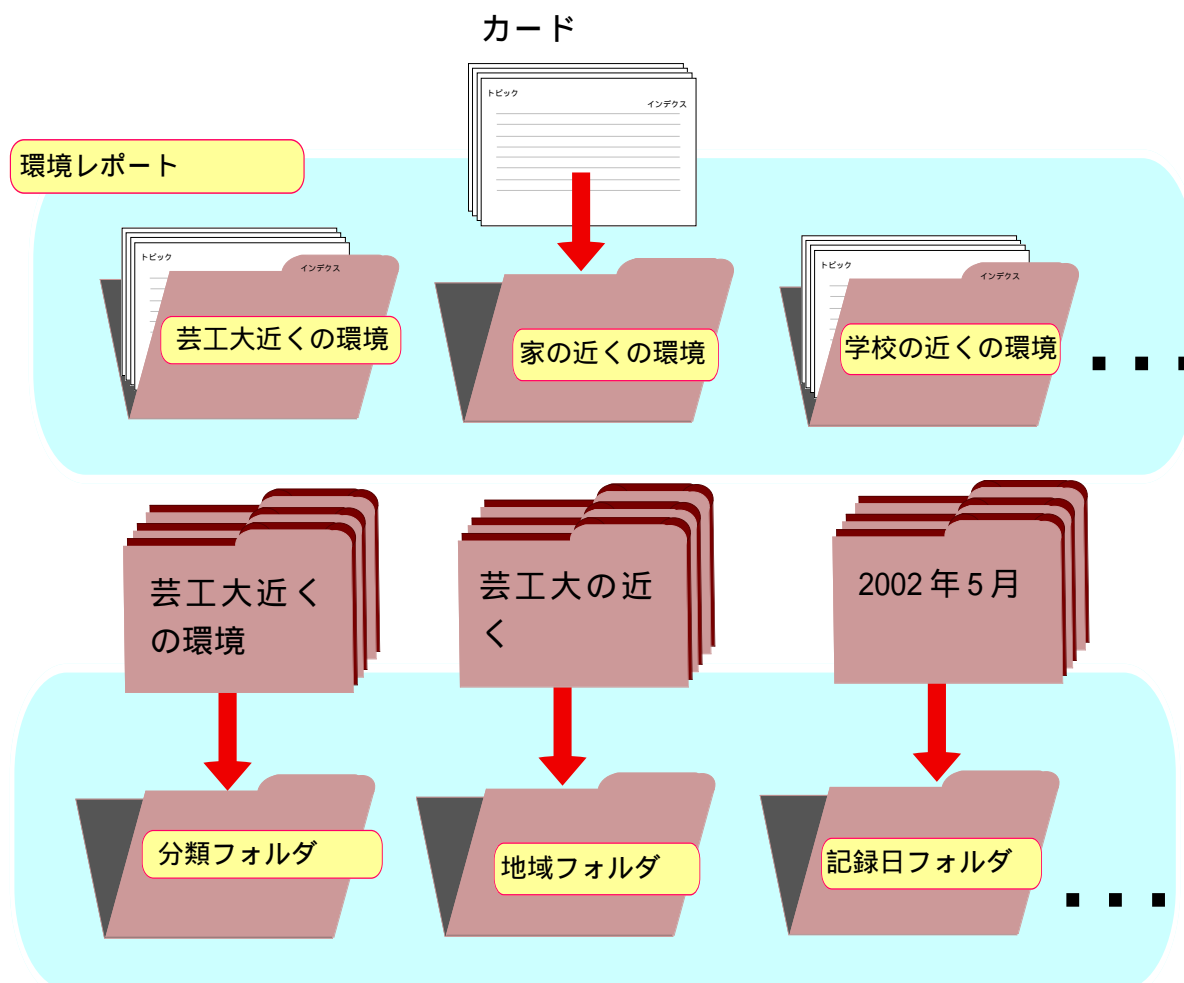
「分類フォルダ」「地域フォルダ」「記録日フォルダ」「登録日フォルダ」...といくつもあります。それぞれのフォルダは名前を変えることもできます。名前を変えなければ、とりあえずこれで OK です。

「オプションフォルダ」は任意のフォルダ作成に使います。適切な名前を入力し、左の赤い をクリックします。

設定が終わったら「登録」をクリックしてください。 <input type="button" value="登録"/>	
左が赤■のフォルダをこのサイトで使います。不要なフォルダは赤■をクリックして白■にします。	
サイト名 (半角英数字)	<input type="text" value="kankyo"/>
サイトタイトル (日本語)	<input type="text" value="環境レポート"/>
1 分類フォルダ	名称 <input type="text" value="分類フォルダ"/> 略称 <input type="text" value="カテゴリ"/>
2 地域フォルダ	名称 <input type="text" value="地域フォルダ"/> 略称 <input type="text" value="地域"/>
3 記録日フォルダ	名称 <input type="text" value="記録日フォルダ"/> 略称 <input type="text" value="記録日"/>

フォルダを作ろう！

分類フォルダ、地域フォルダはまとめフォルダです。この中にいくつもカードを入れるテーマ別のフォルダを作ります。



分類フォルダにテーマ別のフォルダを作る

「Top」から「サイトの選択」、続いてこれから作るサイト名を選びます。

サイトの編集	サイトの選択 新規サイトの作成 既存サイトの削除 ファイルのアップロード クリップファイルの編集
--------	---

サイト	環境レポート
-----	---------------

そして今作ったばかりのサイトのメニューから「フォルダの編集」を選びます。

環境レポート	アップロード	ファイルをアップロードします。
	クリップファイルの編集	クリップファイルを編集します。
	カードの編集	カードを編集します。
	フォルダの編集	カードを入れるフォルダを作ります。
	基本設定	処理の基本設定をします。

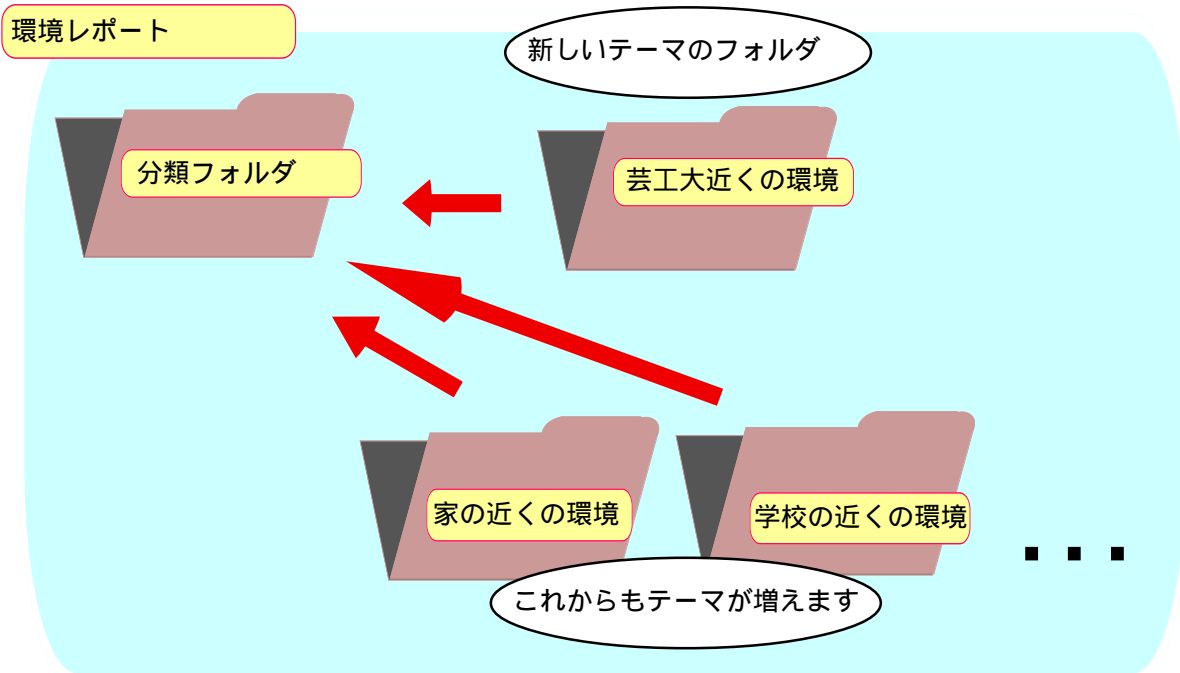
フォルダ種別選択から「カテゴリ」(「分類フォルダ」)または「地域」(「地域フォルダ」)の「新規」ボタンをクリックします。

サイト	環境レポート
フォルダ種別選択	カテゴリ <input type="button" value="新規"/> <input type="button" value="編集"/> 地域 <input type="button" value="新規"/> <input type="button" value="編集"/>

新しい分類フォルダに名前をつける

分類まとめフォルダに今回のテーマのフォルダを作ります。

これからまた新しいテーマで何か始めるときには、新しい名前のフォルダを作ります。これから末長く、フォルダを作っては増やしていきましょう！



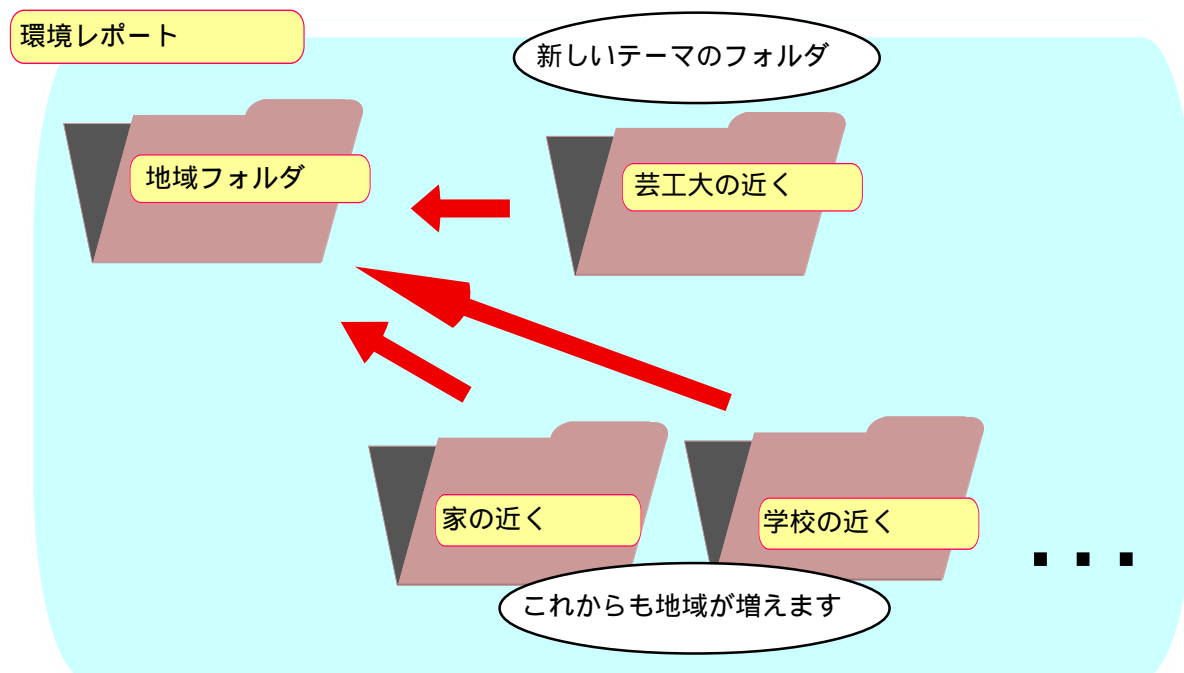
分類フォルダにテーマ別のフォルダを作る

フォルダ名にテーマをあらわす名前を付けます。例えば「芸工大近くの環境」のようにします。略称はそれを短くした名前にします。同じでもかまいません。フォルダIDには半角英数字でそれとわかる名前（例えば「geiko」）を付けます。終わったら、「登録」をクリックします。

	登録 削除
サイト	環境レポート
フォルダ種別	分類
フォルダ名	芸工大周辺の環境
略称	芸工大周辺
フォルダID (半角英数字)	geiko

新しい地域フォルダに名前をつける

地域まとめフォルダに今回のテーマのフォルダを作ります。
これからまた新しい地域を増やすときには、新しい名前のフォルダを作ります。
どのような地域に分類するかは、何をするかによっていろいろ考えられます。
例えば、同じ市内の違う場所が多くなりそうなら、「芸工大の近く」「家の近く」...のような整理でいいでしょう。
少し地域が広い場合には、「山形市」「天童市」のような整理でもよいです。



地域フォルダにテーマ別のフォルダを作る

フォルダに地域をあらわす名前を付けます。例えば「芸工大の近く」のようにします。略称はそれを短くした名前にします。同じでもかまいません。キーIDには半角英数字でそれとわかる名前(例えば「geiko」)を付けます。終わったら、「登録」をクリックします。

登録 削除	
サイト	環境レポート
フォルダ種別	地域
フォルダ名	芸工大の近く
略称	芸工大の近く
フォルダID (半角英数字)	geiko

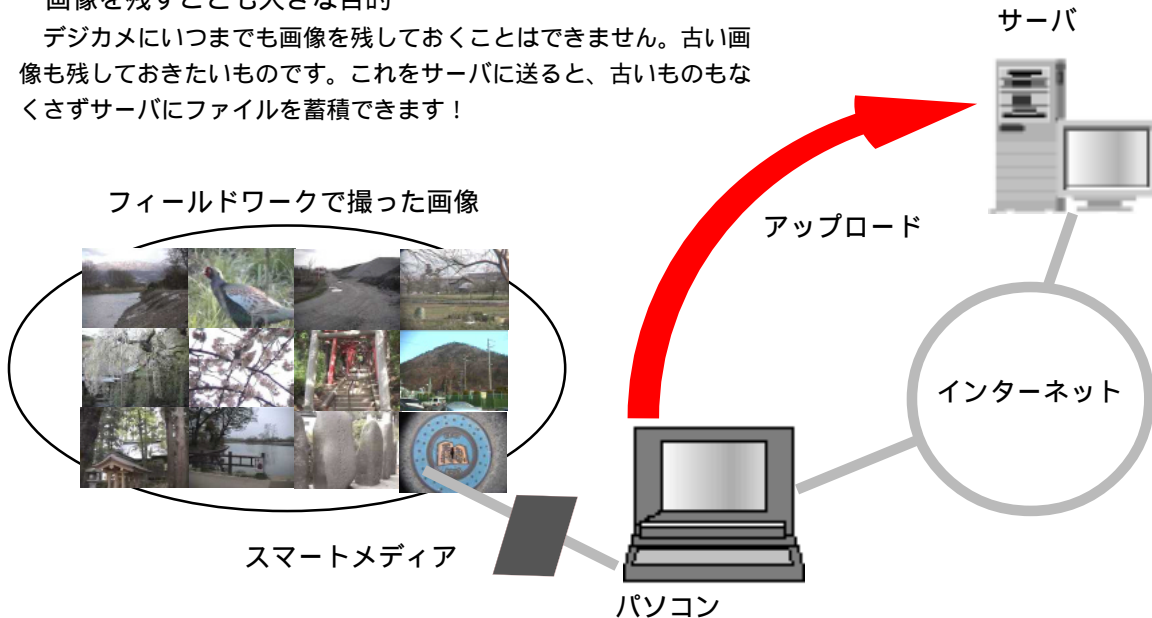
ファイルをアップロードする

アップロードとは？

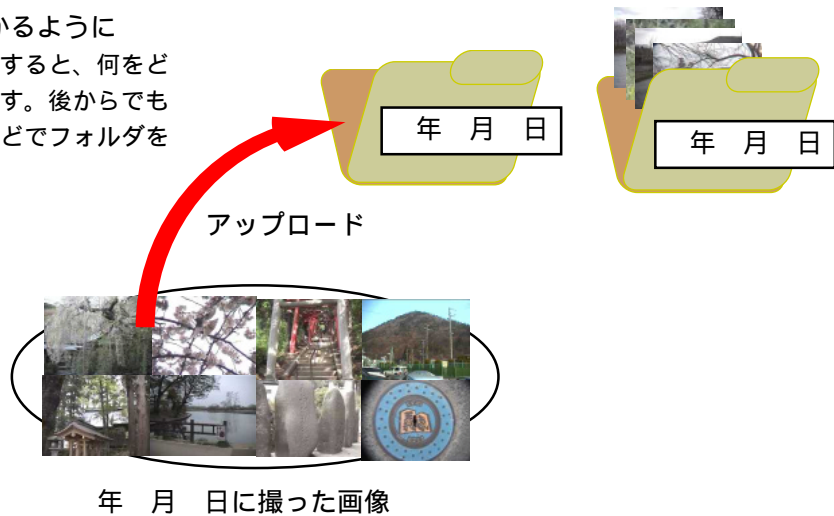
画像ファイルなどを別のコンピュータに送ることです。サーバという役割のコンピュータに送ります。

画像を残すことも大きな目的

デジカメにいつまでも画像を残しておくことはできません。古い画像も残しておきたいものです。これをサーバに送ると、古いものもなくさずサーバにファイルを蓄積できます！



日付を付けて後からでもわかるように
 やみくもに画像をアップロードすると、何をどこに保存したかわからなくなります。後からでもわかるように、撮った日の日付などでフォルダを作ってアップロードします。



アップロードを選ぶ。

サイト編集メニューから「アップロード」を選びます。「Top」の「ファイルのアップロード」も同じことをします。

Topメニュー

サイトの編集	サイトの選択
	新規サイトの作成
	既存サイトの削除
	ファイルのアップロード
	クリップファイルの編集

サイト編集メニュー

環境レポート	アップロード
	クリップファイルの編集
	カードの編集
	フォルダの編集
	基本設定

ファイルを選んでアップロード。

ファイル名の「参照...」を選び、アップロードしたいファイルを選びます。

「アップロード先」から「新規」を選び、新規ディレクトリ名にその画像を入れるフォルダ名(半角英数字)を書きます。

以上終わったら「アップロード」を実行します。アップロードが終わったらウィンドウを閉じます。たくさんある時はこの手順を繰り返します。2回目以降は既に指定したアップロード先の名前を選びます。



アップロードできるファイルのいろいろ

PushCornではいろいろなメディアファイル(マルチメディアのさまざまな形式のファイル)をアップロードすることができます。形式ごとにファイルの拡張子が異なります。

画像ファイル

次のタイプの画像ファイルをアップロードできます。

jpg (jpeg = ジェーペグ) gif (ジフ) png (ピング) bmp (ビーエムピーまたはビットマップ)

アップロードした後はいずれも jpg 形式に変換します。



jpg (jpeg)



gif



png



bmp

動画 (ムービー) ファイル

次のタイプの動画ファイルをアップロードできます。

avi、mpg (mpeg)、mov、wmv



avi



wmv

(WindowsMedia Video)



mov

(QuickTime ムービー)



mpg (mpeg)

Windows で動画を作ると、普通、avi、wmv の形式になります。

Mac で動画を作ると、QuickTime ムービー (mov 形式) になります。

ハード、ソフトによっては mpg (エムペグ) になります。

音声ファイル

mp3、wav、au、wma のいずれかのファイルをアップロードできます。



音楽ファイル

MIDI ファイル (拡張子: mid) をアップロードできます。



文書ファイル

文書ファイルには数多くの形式があります。現在、以下のタイプのファイルをアップロードできます。

- txt テキスト形式
- doc WORD 形式
- html HTML 形式
- xls Excel 形式
- xml XML 形式
- ppt PowerPoint 形式
- pdf PDF 形式

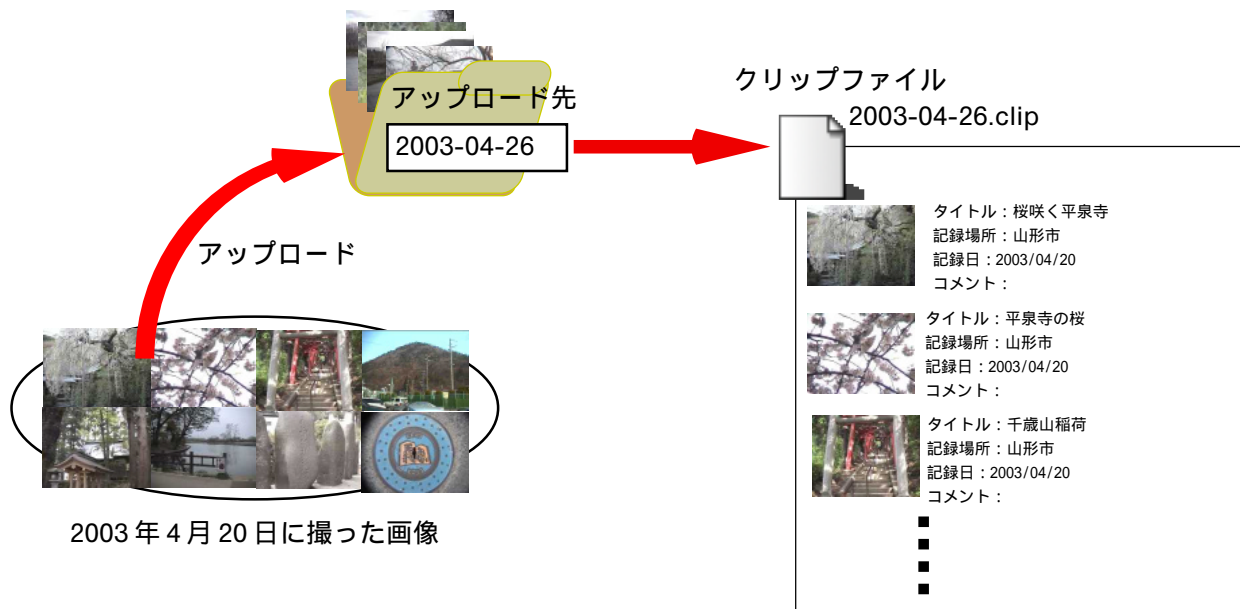
「クリップファイル」は情報の整理箱

クリップファイルは情報の整理箱

アップロードしたファイルは「クリップファイル」という素敵な入れ物に記録されます。

画像や動画などのファイルをサーバにアップロードしたら、それにタイトルを付けたり、コメントを書き加えて未長く保管できるようにする「情報の整理箱」がクリップファイルです。

ここでちょっとそのからくりをご説明しましょう。

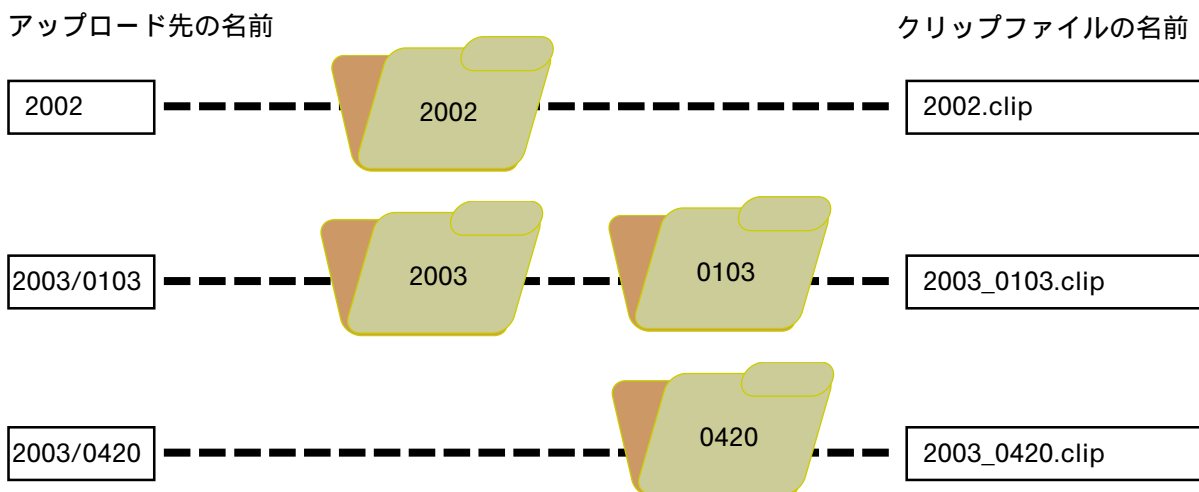


アップロード先は階層化できます。

アップロード先はファイルの格納庫です。使える文字は半角英数字だけです。ご注意ください。

さて、アップロード先は例えば次のように階層化することができます。アップロード時、アップロード先の名前は / で区切ると、次のように階層化されます。

クリップファイル名は次の例のように、名前の間は _ でつないだ名前に置き換えます。

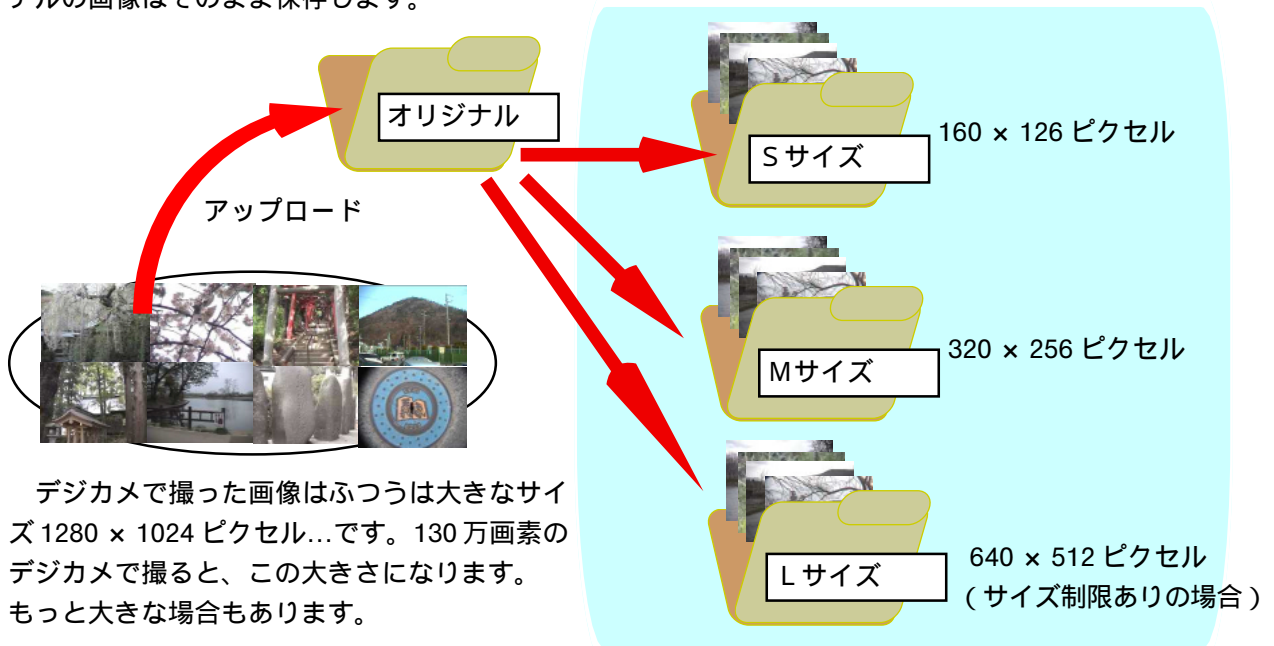


画像は加工しなくていいの？

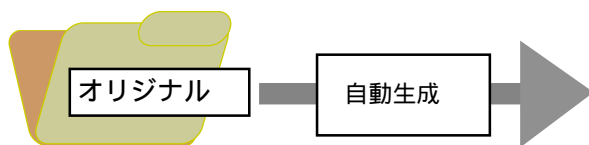
暗すぎたり、コントラストがきつすぎたりする画像は加工するのに越したことはありません。PushCornではなるべく加工の手間がいらぬように処理してくれます。

デジカメで撮った画像はそのまま送ります。横向きの画像は回転して起こしてあげてください。それでは画像が大きすぎませんか。

心配はいりません。PushCornでは、すべてサーバの中でうまく処理されるようになっています。オリジナルの画像はそのまま保存します。



PushCornでは画像の変換を全て自動処理します。とても面倒だった画像の扱いがとても簡単になりました。



大きさ：
 Sサイズ 160 × 160 ピクセル以内
 Mサイズ 320 × 320 ピクセル以内
 Lサイズ 640 × 640 ピクセル以内 (サイズ制限ありの場合)

オリジナルをLサイズにしたい時は...

画像の種類や用途によってはLサイズをオリジナルの大きなサイズのまま見せたい場合もあります。その時は「サイズ制限」のチェックを外してください。Lサイズがオリジナルサイズになります。

画像を回転させたい時は...

回転角度を選んでください。90度単位で選ぶことができます。

ファイルのアップロード



回転角度
右に 90 度回転



クリップを整理しよう！

ファイルをアップロードし終えたら、クリップファイルを開いてクリップを整理してみましょう。タイトルを付けたり、コメントを付けたりします。

クリップファイルは未長くファイルを保存し、サイトを作るときに役立ちます。タイトルなどが付いていると、カードに画像などを割り付ける時にも便利です。

ちょっと手間はかかりますが、記憶が新しいうちにクリップに情報を設定しておきましょう。

「クリップファイルの編集」を選ぶ

「Top」または各サイトごとのメニューから「クリップファイルの編集」を選びます。

「既存のクリップファイル」を選ぶ

「既存のクリップファイル」から編集したいクリップファイルを選ぶと、そのクリップが一覧表示されます。

各クリップを編集する

編集したいクリップの「編集」ボタンをクリックすると、クリップの入力項目が開きます。「すべて展開」ボタンをクリックすると、全てのクリップの入力項目が開きます。

タイトル、記録場所、記録日、コメントをそれぞれ入力します。

「登録」を選ぶ

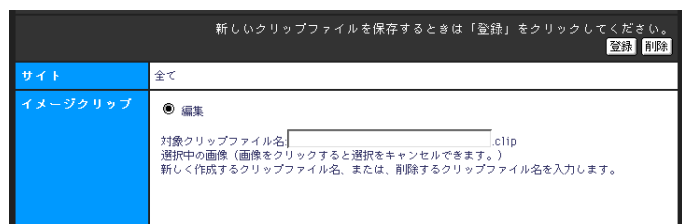
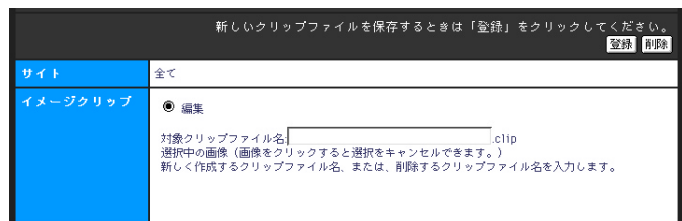
入力が終わったら、「登録」をクリックします。一度クリックすると全てのクリップの情報を保存します。クリップごとに一つ一つ「登録」を繰り返す必要はありません。

新規にクリップファイルを作り直したい時は一番上にある「イメージクリップ」(クリップファイル)の項目は、新規にクリップファイルを作り直したい時、既存クリップファイルを削除したい時にだけ使います。

既存クリップファイルの画像をクリックすると、順にファイルが追加されます。クリップファイル名を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

既存クリップファイルを削除したい時は

「イメージクリップ」にクリップファイル名を入力し、「削除」ボタンをクリックします。



トピックごとにカードを作ろう！

調べたこと、人から聞いた話、気づいたこと、考えさせられたことなどがいろいろあるはず。画像を見てさらにそこから気づくことなどもあるはず。

そういう何か（トピック）をみつけたら、それをカードにまとめてみましょう。

まず何を調べたのか、何に気づいたのかなどを説明してみましょう。

どういうトピックか、わかりやすいタイトルを書きます。

こういう情報はいつ、どこのことなのか、わかるようにしましょう。

カードを作った日付も入れておきましょう。

どのフォルダに入れるのかも忘れずに。これを入れないと、このカードはどのフォルダにも入りません。

このカードに何枚も画像を並べたい時には、それもここにまとめて入れましょう。



トピック	タイトル	桜の花にヒヨドリ
		
山形市の平清水に平泉寺というお寺があります。きれいな桜の花が咲いていました。		
記録日	2003/04/15	花のミツをすっている鳥がいました。
場所	山形市の平泉寺	お父さんが、これはヒヨドリだよと教えてくれました。
		

欲ばりはダメよ！


何か書き始めると、ついついあれもこれもと書きたくなります。1枚のカードには1つのトピックだけ書きましょう。ちがうトピックは別のカードに書きましょう。

カードを編集

「カードの編集」を選びます。

環境レポート	アップロード	ファイルをアップロードします。
	クリップファイルの編集	クリップファイルを編集します。
	カードの編集	カードを編集します。
	フォルダの編集	カードを入れるフォルダを作ります。
	基本設定	処理の基本設定をします。

新規にカードを編集する時は「新規」ボタンをクリックします。既にカードがある場合は、カードのタイトルを選びます。

サイト	環境レポート
カード	

トピックの組み立て方

画像を選ぶことで、何の「トピック」かがはっきりしてきます。そこで、まずは「トピックの組み立て方」からみていくことにしましょう。

「ポップコーン」でサイトを作ると、例えば右のようなページができます。このような内容をトピックとしてまとめることを考えてみましょう。



画像を束ねる

「旅れぼ」のトピックを扱うとすれば、ある場面のトピックをどの画像で構成し、どのようなタイトルを付けることができるかを考えます。



代表画像を選ぶ

ともかく一番印象的な画像、伝えたい画像を選びましょう。おそらくそこに一番伝えたいトピックが代表されているはずです。



説明をする

伝えたいことを言葉で表現してみましょう。伝えたいことがさらにはっきりしてきます。

タイトルを付ける

以上の内容をタイトルに表現してみます。どうもうまいかない、という時は内容、構成、表現を見直してみましょう。

カードの作り方

カード編集画面

カードにはいろいろと書き込みたいことがあります。項目の数も少し多くなっています。これらの項目に必要な事項を記入したり、選択したりして各項目を編集します。

編集する内容を保存するときは「登録」をクリックしてください。 [登録](#) [削除](#)

サイトタイトル	W杯2002体験記	
フォルダ	カテゴリ	未分類 編集
	地域	どこか 編集
トピックのタイトル	タイトルなし	
登録日	2004年 04月 24日	
ヘッドライン		
項目追加	▼	

最初にクリップファイル名を選んでください。画像が表示されます。クリックした画像を新しいクリップファイルに追加できます。画像をもう一度クリックするとキャンセルされます。

既存のクリップファイル: [すべて展開](#)

Callouts: 入力項目 (Site Title, Folder), 項目追加メニュー (Item Add), クリップ選択 (Clip Selection)

カードに入力できる項目

処理メニューには、カードに追加できる項目が並んでいます。カードに組み込みたい項目を順番に選びましょう。

- 「サブタイトル」 サブタイトル（小見出し）を付ける時に使います。
- 「説明文テキスト」 説明文を書く時に使います。出来上がったページには枠取りされて表示されます。
- 「長文テキスト」 長い文章を書くときに使います。
- 「1行テキスト」 簡単な1行文を書くときに使います。
- 「データファイル」 画像、ムービー、音声、文書ファイルを貼り付ける時に使います。
- 「メディアクリップ」 画像などを束ねてクリップにする時に使います。
- 「区切り線」 ページの途中で区切り線を引く時に使います。
- 「横組み開始 / 終了」 画像やテキストなどを横組みする時に「開始」と「終了」で範囲を指定します。

どの項目も何度でも使うことができます。例えば次のように組みたい時は該当の項目を順番に追加します。

トピックのタイトル:

- 1 項目追加 ▼
項目追加メニューから「データファイル（画像）」を選ぶ。
- 2 項目追加 ▼
「説明文テキスト」を選ぶ。
- 3 項目追加 ▼
「サブタイトル」を選ぶ。
- 4 項目追加 ▼
「メディアクリップ」を選ぶ。

Callouts: タイトル (Title field), 代表画像 (Image field), 説明文 (Text field), サブタイトル (Subtitle field), メディアクリップ (Media Clip field)

入力項目の確認を！

項目追加メニューから項目の種類を選ぶと、項目の欄が追加されます。共通項目（青色）は固定です。個別項目（灰色）の追加・削除・入れ替えは自由にできます。

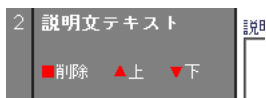
The screenshot shows a form with the following sections:

- 共通項目 (青色):**
 - サイトタイトル: W杯2002体験記
 - フォルダ: カテゴリ (未分類), 地域 (どこか)
 - トピックのタイトル: タイトルなし
 - 登録日: 2004年04月24日
 - ヘッドライン
- 個別項目 (灰色):**
 - 1 データファイル: 項目追加, 削除, 上, 下
 - 2 説明文テキスト: 項目追加, 削除, 上, 下
 - 3 サブタイトル: 項目追加, 削除, 上, 下
 - 4 メディアクリップ: 項目追加, 削除, 上, 下
- クリップ選択:** 既存のクリップファイル

入力項目を入れ替えたりする時は？

左側の項目名の下にある赤いボタンで操作します。

- その項目を削除する。
- 一つ上の項目と入れ替える。
- 一つ下の項目と入れ替える。



それぞれの項目に入力する方法

「データファイル」「メディアクリップ」の場合には、下段の「クリップ選択」から「既存のクリップファイル」を選びます（手順は次のページ）。

「区切り線」「横組み開始 / 終了」は項目の位置を指定するだけです。

それ以外の項目は、テキストフィールドに文字を入力します。

全ての入力が終わったら「登録」

全ての入力が終わったら、ページ右上の「登録」ボタンをクリックします。

もし入力内容を無効にしたい時は「登録」をクリックしないで、他の処理を選んでください。

既存カードの編集後に新規保存はできません。

既存のカードを「カード編集」メニューから選んだ後、新たな内容に書き換えて新規保存することはできません。この場合はあくまで既存カードを上書き更新するだけです。間違えないように気をつけてください。

カードに画像をはろう！

まずは「既存のクリップファイル」を選ぶ

下段「クリップ選択」の「既存のクリップファイル」メニューを選んでください。ここから貼り付けたい画像の入っているクリップファイルを選びます。



項目「画像などのファイル」に画像をはる

「編集」ボタンをクリックします。次にクリップファイルの画像をクリックします。記録日、記録場所はクリップから自動設定されます。



画像をはる



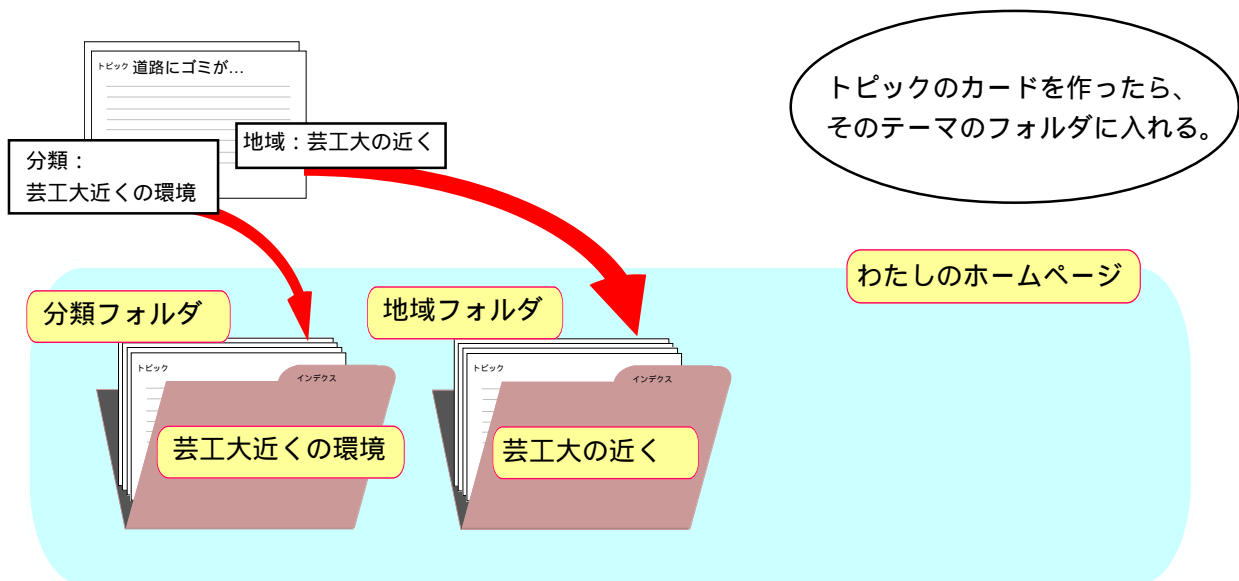
項目「メディアクリップ」に画像をはる。

「編集」ボタンをクリックします。次にクリップファイルの画像をクリックします。クリップはいくつでも追加できます。同じクリップをもう一度クリックすると、選択がキャンセルされます。



カードをフォルダに入れよう！

テーマごとに分けてわかりやすく！



トピックのカードをテーマ別のフォルダに入れます。このカードを「分類フォルダ」「地域フォルダ」それぞれのどのフォルダに入れたいのかを選びます。

どの分類フォルダ、地域フォルダに入れるかを選ぶ。

どの「カテゴリ」(「分類フォルダ」)に入れるのか、どの「地域」(「地域フォルダ」)に入れるのかを選びます。

フォルダ	カテゴリ	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="オプション"/>
	地域	<input type="button" value="編集"/>	

フォルダ名(インデクスキー名称)から、どのフォルダに入れるのかを選びます。

何も選ばないと、とりあえず「カテゴリ」は「未分類」、「地域」は「どこか」に入ります。なるべく自分で作ったフォルダを選ぶようにしましょう。

インデクス種別	分類	<input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="閉じる"/>
編集区分	<input type="radio"/> 選択 <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 修正	
インデクスキー名称	未分類 non 未分類 学校本館位の選択	

新しいフォルダを加えたい時は

新しいフォルダ名を加えたい時は次のように、「新規」を選ぶと、フォルダを追加できます。

フォルダ名(インデクスキー名称)、略称(キー名略称)、フォルダID(キーID)をそれぞれ入力し、「登録」ボタンをクリックします。

インデクス種別	地域	<input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="閉じる"/>
編集区分	<input type="radio"/> 選択 <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 修正	
インデクスキー名称	どこか	
インデクスキー名称	見かけ	
キー名称略	見かけ	
キーID	manigcode	

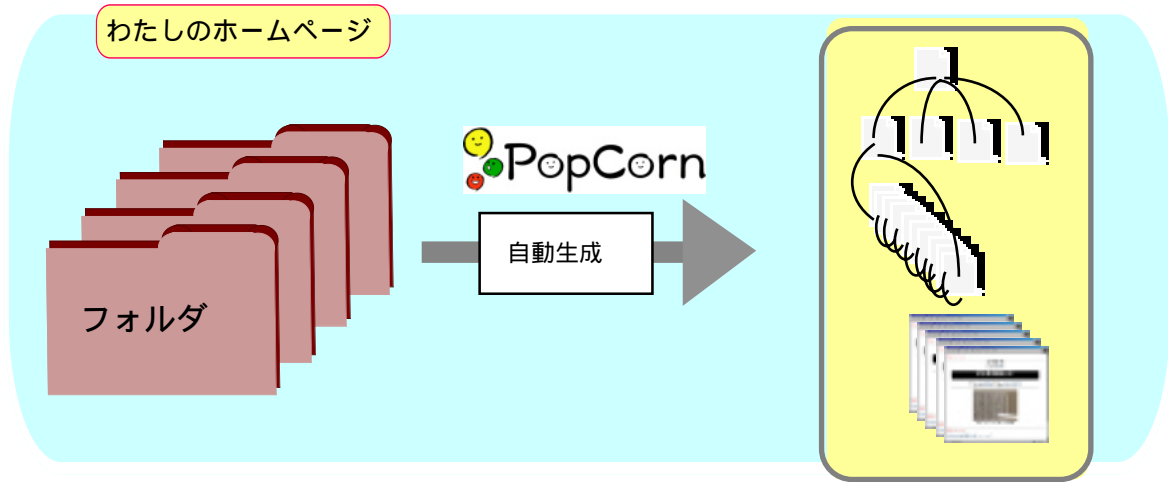
作ったら次はいつも「ポップコーン」！

作ったときが見たいときです。一つカードができたなら、「PopCorn」(ポップコーン)でウェブサイトを作ってみましょう。

ところで、「PopCorn」とは何でしょう。PushCornのお友達です。PushCornでサイトの編集をすると、PopCornがサイト(ホームページ)を自動生成してくれます。普通のホームページエディタでは一つ一つのページを編集するには向いていますが、サイト全体の構造を作るのはとても手間がかかります。この点が大きく違います。

今は1つのカードでも、これから10、100、1000...とその数が増えていくかもしれません。数が増えるほど、サイトを作るのはとても大変になります。カードの枚数がどんなに増えてもそれを支えてくれるのが「PopCorn」です。

カードを追加したら、そのたびにサイトを作り直して、どんなものになったかを見てみましょう。



ポップコーン実行

サイト編集メニューから「ポップコーン」を選びます。

環境レポート	アップロード	ファイルをアップロードします。
	クリップファイルの編集	クリップファイルを編集します。
	カードの編集	カードを編集します。
	フォルダの編集	カードを入れるフォルダを作ります。
	基本設定	処理の基本設定をします。
	ポップコーン	サイトを生成します。

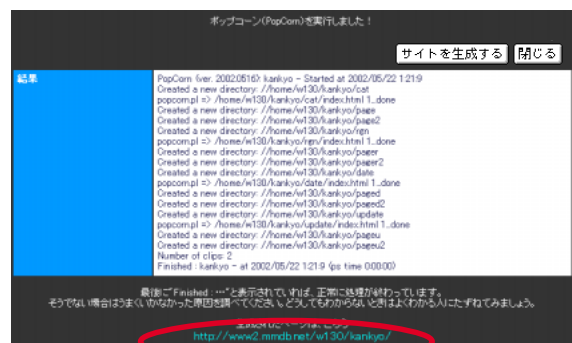
次の画面が出てきます。「サイトを生成する」をクリックして「ポップコーン」を実行します。



まだトピックやクリップ件数が少なければほんの数秒で処理は終わってしまいます。処理が無事終わると、次のような「結果」メッセージが表示されます。これでサイトができました。

サイトを見てみよう

「結果」メッセージの画面から生成したばかりのサイトにジャンプできます。



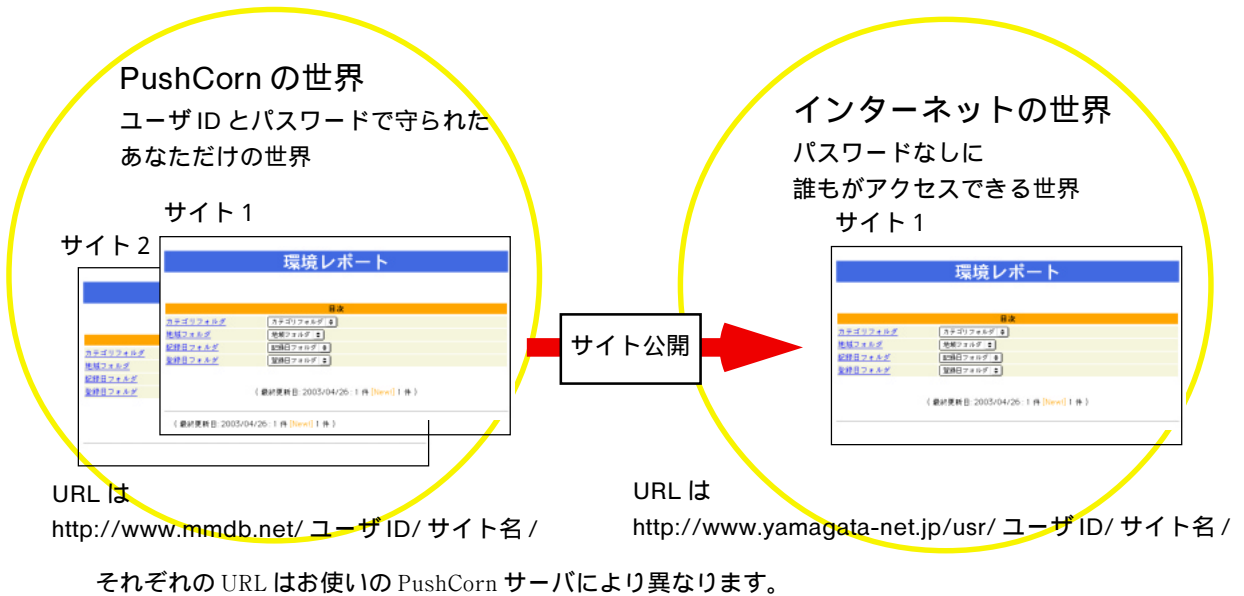
インターネットに公開しよう！

「ポップコーン」を実行すると、サイト（ホームページ）ができます。

ただし、このサイトはこのままでは他の人は見ることはできません。どうしてでしょうか。

「PushCorn」を使うときにユーザ ID とパスワードを入力しなければなりません。誰かが不用意にあなたの PushCorn を使うことがないようにアクセスを制限しているのです。

作ったサイトを公開する時には、「インターネットに公開する」という処理をして、本当にインターネットに公開するようにします。



インターネットにサイトを公開する

サイト編集メニューから「基本設定」を選びます。

環境レポート	アップロード	ファイルをアップロードします。
	クリップファイルの編集	クリップファイルを編集します。
	カードの編集	カードを編集します。
	フォルダの編集	カードを入れるフォルダを作ります。
	基本設定	処理の基本設定をします。
	ポップコーン	サイトを生成します。

「サイト基本項目」を選びます。

サイト	環境レポート
基本設定メニュー	サイト基本項目
	サイトフォルダ情報
	ページレイアウト情報
	目次&メニュー情報

「サイト公開」の項目の「公開にする」にチェックを入れます。

サイトタイトル	環境レポート
トップページ ファイル名	index.html
サイト公開	(このサイトは非公開です) 公開する場合のURL: http://www.yamagata-net.jp/usr/moe/kankyo/ <input type="radio"/> 非公開にする <input checked="" type="radio"/> 公開にする
新着日付優先 設定	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
新着日数指定	14

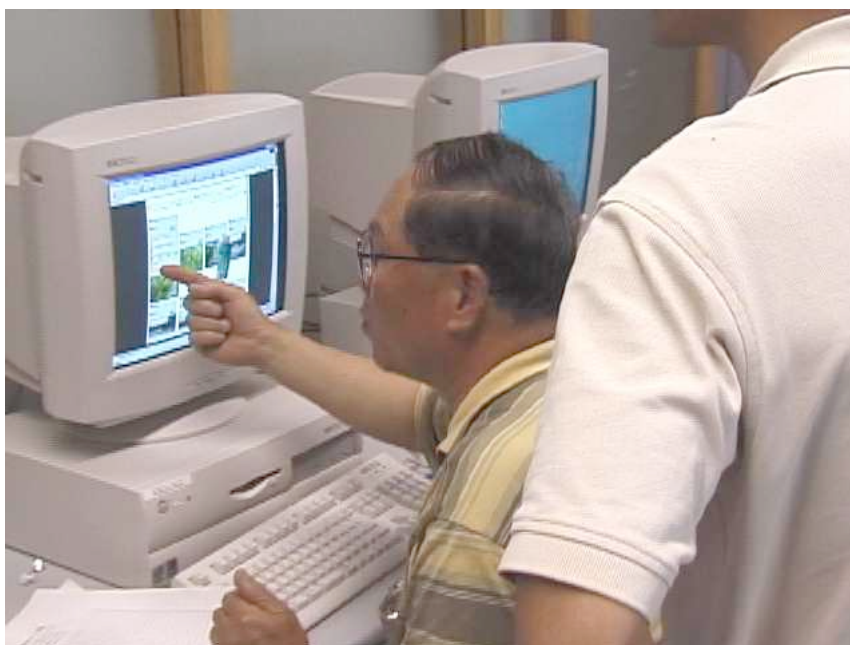
公開される URL はここに示されています。
よく確認してください。

「登録」ボタンをクリックすると「サイト公開」されます。

登録
サイトタイトル 環境レポート

第2部「ずーっと学習」編

学習は一生の楽しみ。ずーっと末長く続けましょう。PushCornで自分の体験をMyポートフォリオにプッシュしましょう。5年でも10年でも、さらにはもっと長く、1つのサイトをどこまでも途方もなく成長させ続けることができます！



東北芸術工科大学公開講座 2002
「PushCorn ワークショップ【1】環境学習編」の一コマ

「eポートフォリオ」に育てましょう！

「ポートフォリオ」って何？

もともとは、「紙ばさみ」を意味するイタリアの言葉です。

自分で調べたことを書き込んだカード、デジカメで撮った画像、また集めた資料などをたばねて、フォルダに入れて分類します。このフォルダをさらにまとめたもの。これを「ポートフォリオ」と呼ぶことにしましょう。

それでは「eポートフォリオ」は？

「ポートフォリオ」の前にゴミみたいなものが…。いいえ、「e」(イー) これはれっきとした一文字です。「イーポートフォリオ」と読みましょう。

昔々、そして今も、カードは紙、フォルダは紙を束ねるものでした。ですので、「ポートフォリオ」は「紙ばさみ」という言葉でもよかったわけですが、PushC0rnで作るカードもフォルダも紙ではありません。

「郵便物」(メール)は、便箋(びんせん)に手紙を書き、封筒に入れて郵送するものでした。インターネットの世界では、メールのソフトを使って、メールをやりとりします。これは「電子メール」です。ふつう、「eメール」(イーメール)と呼びます。これと同じように、PushC0rnを使って作る「ポートフォリオ」は、「電子ポートフォリオ」です。「デジタルポートフォリオ」とも言います。この言葉はむずかしいので、もっと簡単に「eポートフォリオ」と呼ぶことにしましょう。

小さなスタート、大きな成長

最初に作るサイトはとても小さなものです。しかし、ここにはたくさんのカードやクリップを入れることができます。フォルダを増やすこともできます。サイトをいくつも作ることもできます。

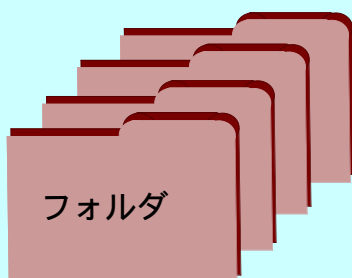
PushC0rnの使い方や調べたことのまとめ方がわかったら、次はいろいろな学習をしながら、ここに自分の記録を作っていきます。半年後、1年後、さらには5年後、10年後にはとても大きな、そして自分の学習記録、活動記録ができていきます。

自分の記録が増えていくと、自分自身との対話ができます。自分が何をしたいのか、何に興味があるのか、自分の知識の何が足りないのか、など、いろいろわかってくるのが不思議です。長い間には、考え方も変わり、知識も増え、理解できる世界も広がり、理解そのものも深くなっていきます。こういう成長記録を自分でたしかめることができます。「eポートフォリオ」ではこういう自分との対話がとても大切です。

学習は一度フィールドワークしてそれでお終いではありません。繰り返し繰り返しフィールドワークに出かけたり、調べたり、まとめたりして、学習したことを形にしていきます。自分で自分の「eポートフォリオ」を作って、毎日の生活をさらに豊かにしてみましょう！

eポートフォリオ

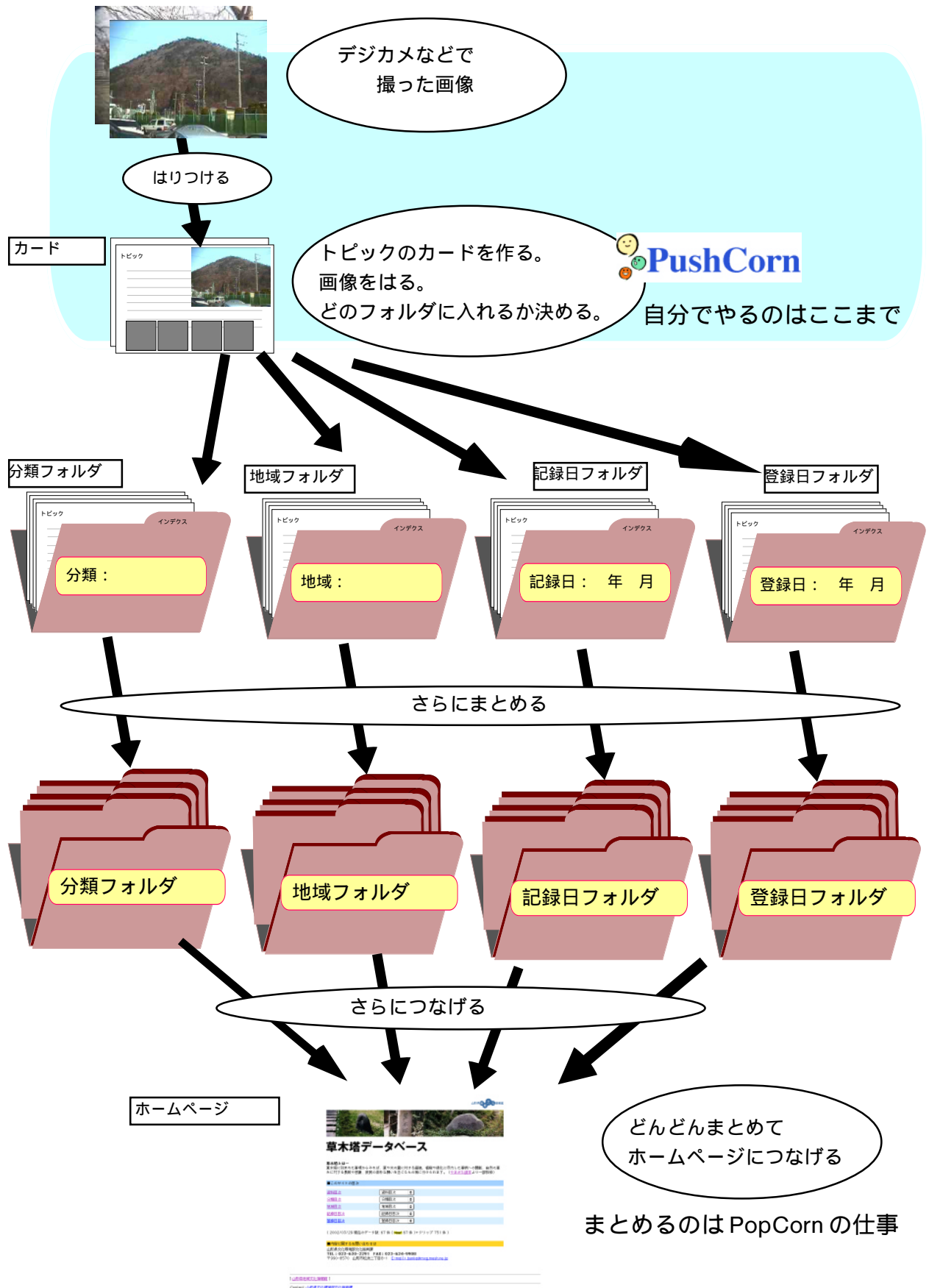
わたしのホームページ



単なる「ホームページ」にあらず。自分の歴史がすべてつまった「eポートフォリオ」！

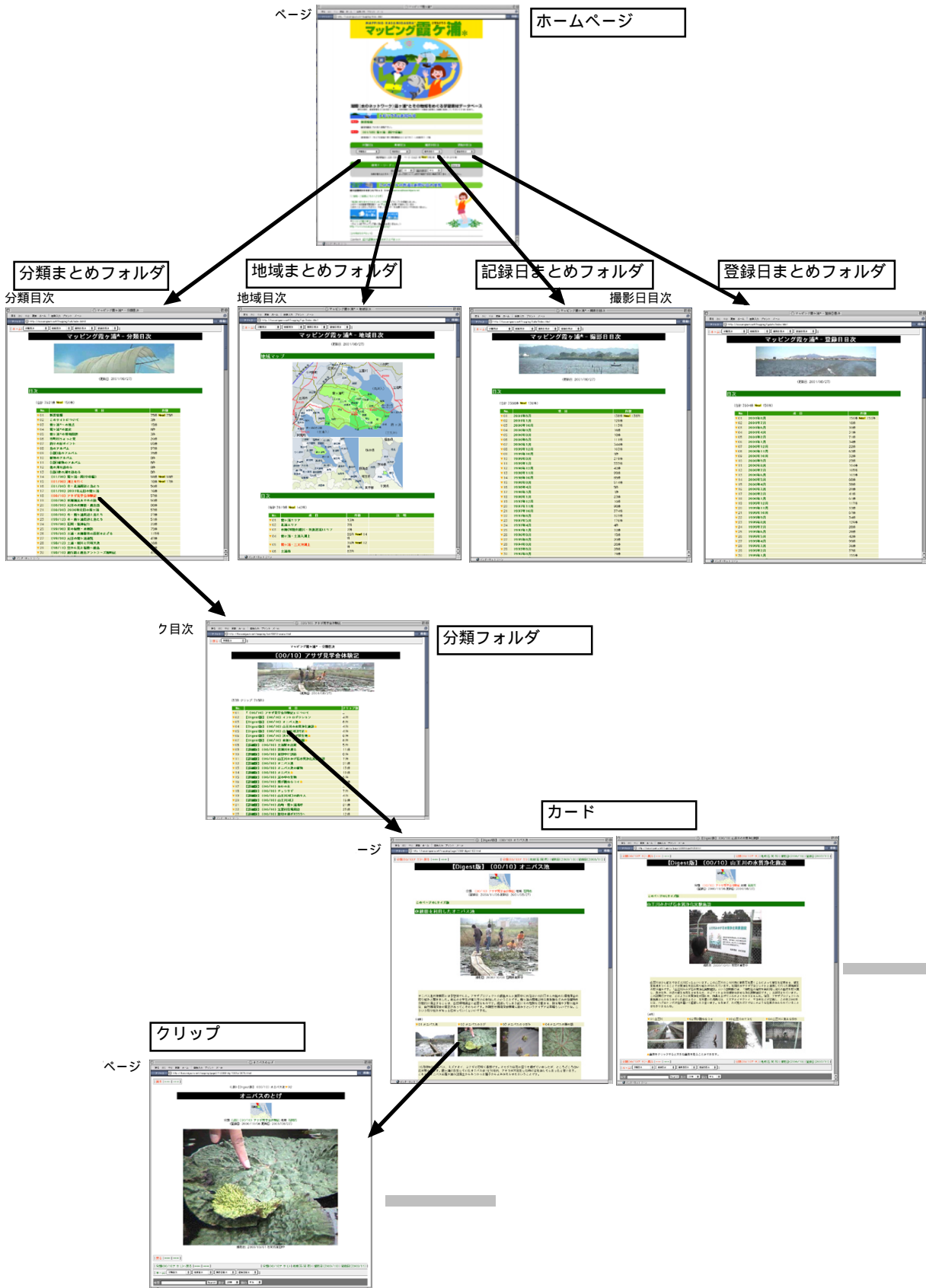
PushCorn で小さく作って、大きくまとめる

PushCornのお仕事は、いつもあなたの学習のお手伝いをすることです。小さく作って大きくまとめるお手伝いをします。大きくまとめたものが「eポートフォリオ」です。



サイト：作るときと見るときは順番が逆

作ったウェブサイトは、作ったときとは見るときでは順番が逆になります。PushCornではカードを先に作りましたが、見るときにはホームページからフォルダを選んで、カード、そしてクリップを選びます。



サイトの作り方：ここがポイント！

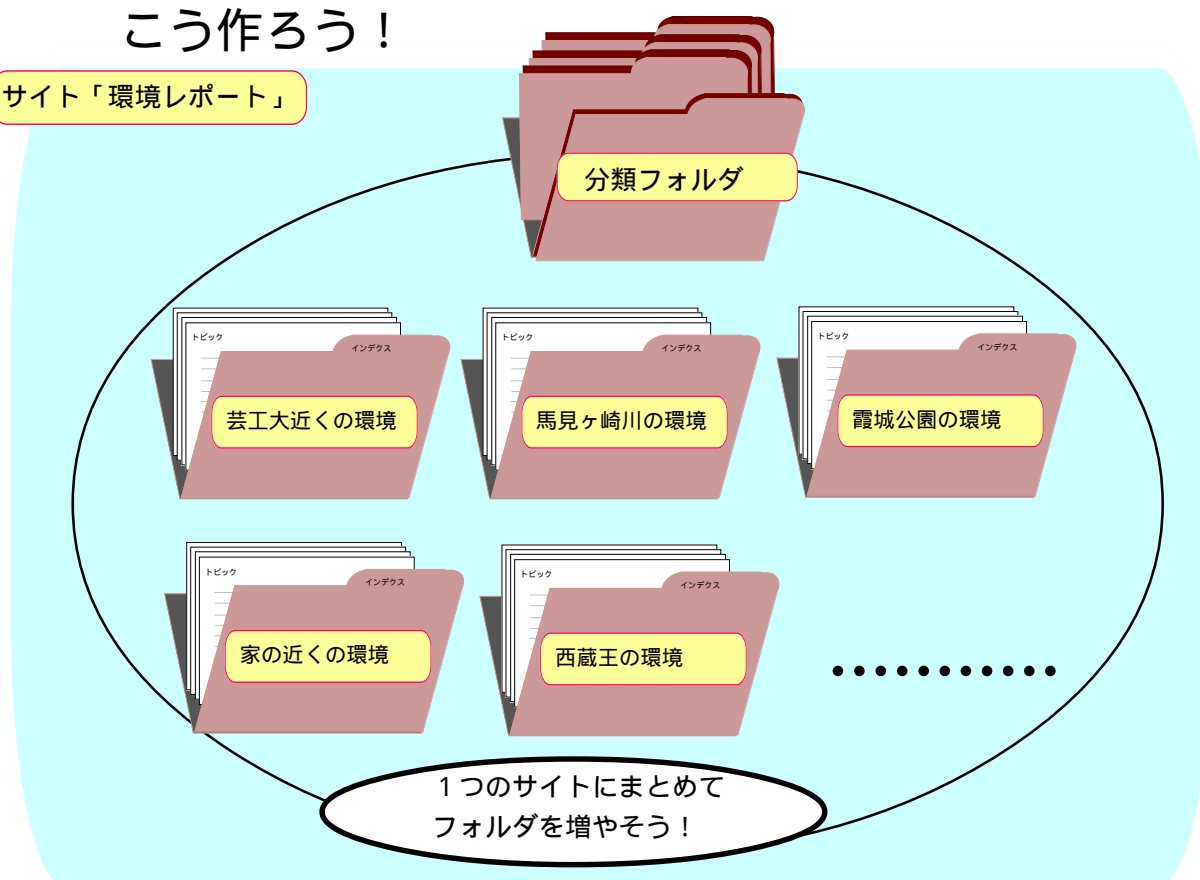
PushCornを使うと、割と手軽にいくつでもサイトを作ることができます。でもちょっと待ってください。なるべく一つのサイトにいろいろな記録が収まるようなまとめ方をしてみましょう。

例えば、いろいろな場所に行って「環境レポート」を育てていくことを考えてみましょう。「芸工大近くの環境」「馬見ヶ崎川の環境」...、これを別々のサイトに入れていくと、サイトばかり増えてしまいます。このような場合は、「環境レポート」というサイトに、それぞれのフォルダを作って入れるようにします。サイトは一つですみます。1年、2年と経つにつれて、フォルダが増えていきます。これでよいのです。

フォルダのまとめ方もいろいろあります。同じ場所を2回、3回と訪れることもあります。このようなときは、フォルダの名前に年月を入れて区別するといいでしょう。

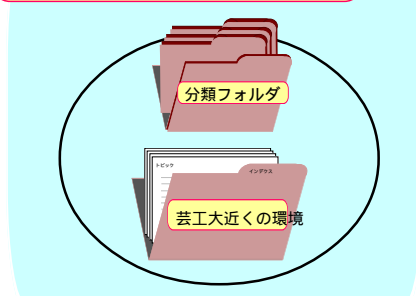
こう作ろう！

サイト「環境レポート」

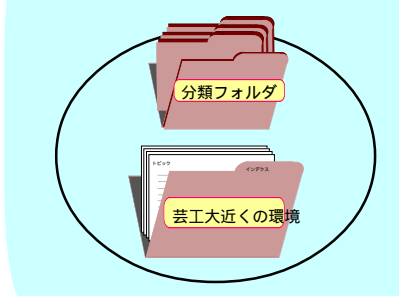


✕ こう作ると何がちがうんだろう？

サイト「芸工大近くの環境」



サイト「馬見ヶ崎川の環境」



.....

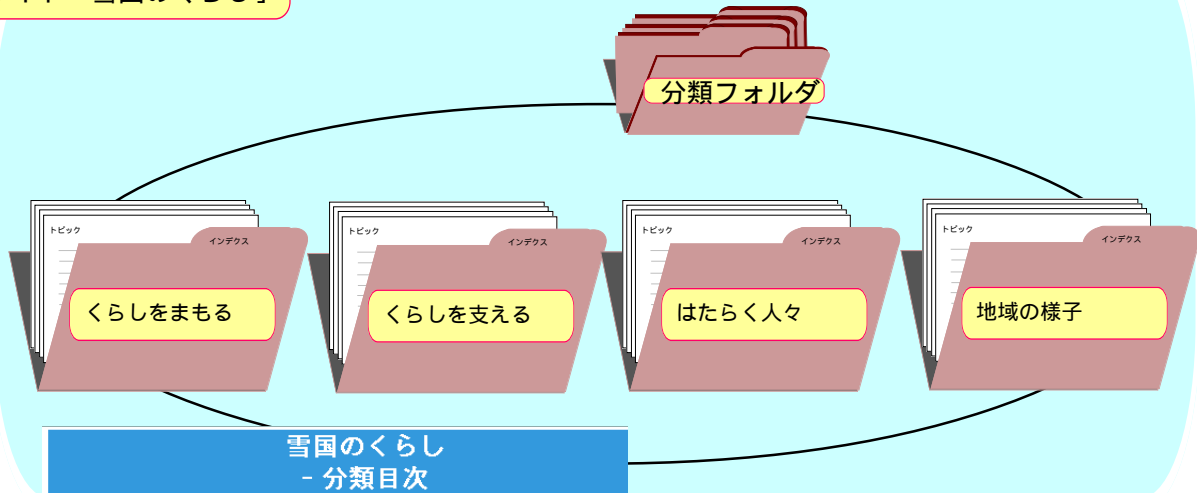
フォルダの分け方はいろいろ 例えば...

フォルダをどう分けるかは、あなたが何を調べたいか、調べているかによってさまざまです。わかりやすいまとめ方、フォルダが一つまた一つと増えていくようなまとめ方を工夫してみましょう。

他の人が作ったサイトも参考になります。例えば...

<http://indi-info.pref.gifu.jp/manabi/pic/archive/chiiki/yukiguni/>

サイト「雪国の暮らし」



雪国の暮らし - 分類目次

(更新日: 2001/03/30)

目次

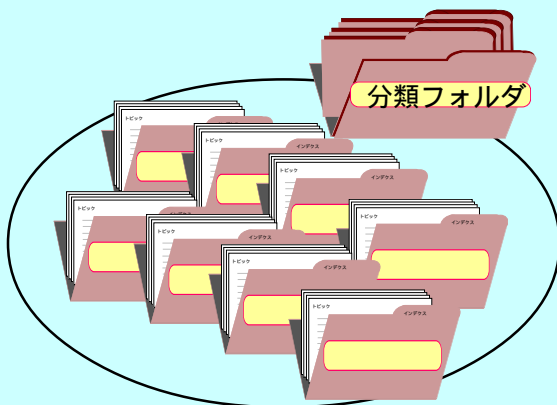
(合計 376件)

No.	項目	件数
▼01	くらしをまもる	51件
▼02	くらしを支える	24件
▼03	はたらく人々	71件
▼04	地域の様子	230件

「雪国の暮らし」ってどんな分け方をするといいんだろう。いろいろな分け方がありますよ。

<http://www.kasumigaura.net/mapping/>

サイト「マッピング霞ヶ浦*」



5年以上経っても、フォルダがたくさん増えてもだいじょうぶ。テーマ+年月で分けると、うまくまとまります。

マッピング霞ヶ浦* - 分類目次

目次

(合計 3886件 **Neut** 70件)

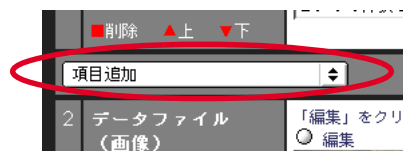
No.	項目	件数
▼01	新着情報	35件 / Neut 35件
▼02	このサイトについて	3件
▼03	霞ヶ浦*への視点	15件
▼04	霞ヶ浦*の歴史	8件
▼05	霞ヶ浦*の環境問題	3件
▼06	市町村ちよっと見	20件
▼07	釣りの好ポイント	65件
▼08	鳥のアルバム	98件
▼14	(02/01) 冬・霞ヶ浦と鳥たち	26件
▼15	(01/08) 霞ヶ浦一周(中岸編)	163件 / Neut 35件
▼16	(01/08) 湖上を行く	18件
▼17	(01/01) 冬・北浦周辺と鳥たち	50件
▼18	(01/01) 2001年元日の霞ヶ浦	16件
▼19	(00/10) アサザ見学会体験記	57件
▼20	(00/06) 水郷湖あやめの旅	50件
▼21	(00/01) 元日の水郷路・鹿島詣	88件
▼22	(00/01) 2000年元日の霞ヶ浦	57件
▼23	(00/01) 冬・霞ヶ浦周辺と鳥たち	27件
▼24	(99/12) 冬・霞ヶ浦周辺と鳥たち	51件
▼25	(99/08) 石岡・龍神紀行	22件
▼26	(99/08) 夏の稲敷・水郷路	75件
▼27	(99/01) 土浦・水郷都市の面影をたどる	115件
▼28	(99/01) 元日の霞ヶ浦遊覧	47件
▼29	(98/12) 土浦・桜川と穴塚大池	16件
▼30	(98/11) 空から見た稲敷〜鹿島	44件
▼31	(98/10) 鹿行路と鹿島アントラーズ観戦記	41件
▼32	(98/08) 行方路	79件
▼33	(98/08) 湖来路	89件

メディアファイルはどう扱うのか

PushCornではいろいろなメディアファイルを扱うことができます。ここでは、それぞれがどう扱うのか、扱われるのかを見てみましょう。

「カード編集」で「項目追加」メニューから追加したい「データファイル」の種類を選びます。

画像ファイルの場合は画像を表示します。画像の場合は表示サイズを指定できます。SはSサイズ(長辺160ピクセル)、MはMサイズ(長辺320ピクセル)、LはLサイズ(長辺640ピクセル)、オリジナルはオリジナルのサイズです。テキストファイル(拡張子がtxt)の場合は、テキストの中身を表示します。



かすみがうら*ネット記録アルバム

ネットで協働学習【5】ビデオで体験を伝えることも学習体験

カテゴリ: 記事「ネットで協働学習できるってホントですか?」 地域: どころ (登録日: 2003/04/01 更新日: 2003/04/21)

ビデオで体験を伝えることも学習体験

調査船がいあ船長の船内トークをネットに公開したら大きな反響が

のブロードバンド化、常時接続が進み、ネットにビデオを公開して学習体験の様子を伝えることのできる環境が進展が市民参加型ネットにさらに大きな可能性を広げてくれます。

の船長さんが、新船の慣らし運行のため、かすみがうら*ネットのメンバー数人が2回に渡り、乗船させてい

いても、舟航体験のある人は数少なくなりました。船で霞ヶ浦の自然を体験できることは大きな感動体験とな

新理解に役立ちます。見て・聴いて・体験して感動する。こういう感動体験が学習の動機づけに役立つことは言

の感想を引用してみましょう。

裏してきました。完璧な船の整備、準備のお陰で、大変乗り心地の良い、恵まれた天候で気持ちのよい素晴らしい

をもちまして、霞ヶ浦のよさを味わう事ができました。

をもたらしくれますが、霞ヶ浦周辺に、霞ヶ浦にかわりを持って暮らす人たちが、今日のような体験をした

じ、もっと自分達の地域を大切に感じてくれるだろうと思わずにいられて良かったです。」

2回目の舟航体験では、DVカメラで撮影したビデオからネット配信用のビデオクリップを作り、試しに私のホームページ『マッピング霞ヶ浦*』に掲載してみたところ、多くの方が自宅からビデオクリップを見て、その疑似体験から面白さや興味を誘発されたようです。予想以上の反響の大きさに驚きました。

ムービー、音声、音楽、文書ファイル(テキストを除く)の場合は、次のようにアイコンを付けてファイル実体にリンクします。

「かすみがうら*ネット」パンフレット

カテゴリ: ドキュメント 地域: どころ (登録日: 2003/04/10 更新日: 2003/04/21)

パンフレット



以上のようにメディアごとにそのメディアにふさわしい形で表示します。

「メディアクリップ」でも基本的な扱い方は同じです。

ムービーのサムネールを表示する方法

ムービー（動画）ファイルは、右のようにメディアタイプのアイコンで通常は表示します。

ただし、ムービーは画像と同様、リアルな映像を扱うことが多く、サムネール（小さな画像）にして表示の方がその内容をもっと直接的に伝えることができますようになります。

ここではそのサムネールの扱い方について解説をします。

例えば、ムービーファイル名が

2003/0316/001.wmv

だとすると、これに対応する jpg 画像ファイル

2003/0316/001.jpg

を用意してください。

その両方をアップロードします。

このようにすることで、ムービーファイルのサムネールを表示できるようになります。

通常はメディアタイプのアイコン表示

かすみがうら*ネット記録アルバム

大貫運河を訪ねる

カテゴリ: 03/03/16勸十郎探訪 地域: 大洗町
(登録日: 2003/03/19 更新日: 2003/04/21)



記録日: 2003/03/16 茨城県大洗町

待ちに待った協働学習「勸十郎探訪」のその時がやって来ました！ 今回の幹事さんはe-idobataの石川雅二さん。参加メンバーは8名ですが、いくつもの学習グループが重なり合ったたいへんめずらしい協働学習会です。「e-idobata」、放送大学茨城学習センターのパソコンクラブ「AirPC」、「県民大学OB会」、そして私たちの「かすみがうら*ネット」。全てのグループに重複所属している方が何人もいらっしゃいます。

午前10時。大洗マリンタワー前に集合し、さっそく最初の見学先、大貫運河跡へ出かけました。今回の幹事さんでもあり、ガイド役でもある石川さんの話、早くものりまくっていますね。

ビデオクリップ

(4件)

- ▼01 勸十郎探訪に出発
- ▼02 「大貫運河は原型をとどめない実貌」
- ▼03 大貫運河を埋め立てた道を進む
- ▼04 大貫運河跡を訪ねる

WindowsMedia Video	WindowsMedia Video	WindowsMedia Video	WindowsMedia Video
--------------------	--------------------	--------------------	--------------------

サムネールでの表示例

ビデオクリップ

(4件)

- ▼01 勸十郎探訪に出発
- ▼02 「大貫運河は原型をとどめない実貌」
- ▼03 大貫運河を埋め立てた道を進む
- ▼04 大貫運河跡を訪ねる



皆とネットでいつもいっしょに！

他の人に学ぼう、他の人に伝えよう！

作ったサイトは皆にも見てもらいましょう。また他の人たちのサイトも見てみましょう。

まずはお友だちや同じ学校の人たち、同じグループの仲間で見せ合ひましょう。

他の人からいろいろなアドバイスをもらえるかもしれません。たとえば環境学習がテーマなら、その専門のアドバイザーの方から、アドバイスをもらったりすることもできるかもしれません。

また他の人が作ったサイトを見ることは、自分とは違う視点、自分とは違う考え方などを知ることができて、自分の学習を進めていく上でとても参考になることが多いものです。自分が作ったサイトが、他の人にはとても参考になったりします。こういうことは一人でやっていると気づかないことですし、できることではありません。いっしょにやってみて、そういう違いや面白さがわかってきます。

興味をどんどん広げよう

いろいろなことに興味を持つと、それを調べることが楽しくなります。次から次へといろいろなことを知りたくなります。

たとえば環境学習で芸工大の近くを調べてみて、いろいろなことがわかってきたとしたら、次は何をしますか。

家の近くはどうなっているのだろう？ とか、学校の近くはどうなっているのだろう？ とか、新しい場所に行つて調べてみると、さらにいろいろなことがわかってきます。

学習の興味を広げていくと、これまではなかった物の見方や考え方も生まれてきます。最初、調べに行ったところにもまた新しい発見があるかもしれません。同じところへまた行って、さらに調べてみると、またいろいろなことに気づいていきます。

こうやって調べたことをPushCornで新しいフォルダを作って、カードを増やしていきましょう。自分が調べたことがどんどん増えていきます。これまでの方法では、自分の情報を増やしながらいつでもそれを見ることができるようになることはとても大変でした。PushCornでそれがとても楽に、そして実際にできるようになります。

趣味に旅行に、何にでも

興味のあることは人それぞれです。あなたの趣味は何ですか？ それは学習とは違うとは思っていませんか。興味のあること、これが最良の学習です。趣味をテーマにして、PushCornを使うと、さらに楽しさが増えていきます。

旅行も楽しさを広げるチャンスです。デジカメやビデオで撮ってくれば「旅の思い出アルバム」を作ることができます。「学習」と思わないで楽しむことが、実はとても楽しい「学習」になります。



これは何だろう？



いろいろなところに発見のヒントが？



第3部 レクチャー編



イントロダクション

「ポートフォリオ」とは、自分の学習記録などを入れていくファイルのようなものです。自分の学習の足跡を全てそこに蓄積することができます。ポートフォリオ学習は生涯学習の足跡を蓄積するのに最も適した学習法です。

面白くないものはどの道、長続きしません。ポートフォリオ学習で大切なことは自分の「興味」。自分で自分の「興味」を引き出し、それを育てていくことでポートフォリオ学習を進めることができます。

「eポートフォリオ」はパソコンを使って作るポートフォリオです。eポートフォリオはパソコン1台あればよいこと、従来の紙のようにかさばらないこと、蓄積がしやすいこと、絶えず更新できること、情報が共有できることなどにメリットがあります。

興味引き出し法

ポートフォリオ学習を進めやすくするコツはちょっとした道具を持つこと。デジカメ、ビデオなどを学習に活かすとポートフォリオの素材が作れるので、学習にはずみがついて面白くなります。日常の「発見」や「感動」は興味を育み、学習を豊かにする原動力。それをポートフォリオにまとめると表現することの面白さを引き出すことができます。表現に磨きをかけ、自分に磨きをかけていきましょう。

「e」のアドバンテージ

従来のポートフォリオと「e」のついた「eポートフォリオ」には決定的な違いがあります。それはかさばらず、生涯かけて学習の記録を無制限に蓄積し続けることができることです。生涯学習の最適の学習方法としてもおすすめします。たくさん蓄積したものは全体がよくわかるように分類したいものです。「PushCorn」のようなeポートフォリオ学習支援ツールを使うと、それが初心者からでも容易に始めることができます。画像の加工処理など煩雑な手間からも解放され、デジカメで1日50枚の写真を撮ってもその日のうちに整理できます。

eポートフォリオは夢の実現

かつて人類は、ロゼッタストーンのような重たいものに学習したことを記号にして刻みました。それがやがて紙に記録するように進化しました。さらに、今日ではパソコン1台で何でもできる「eポートフォリオ」に進化しました。なぜこのように技術が進化して来たのでしょうか。それは、大脳の情報処理の構造が情報を記憶し分類するようになってきているからに他なりません。「eポートフォリオ」はいわば大脳の中にあるポートフォリオの機能を外在化し、その人の理解や記憶を支援するものです。それによって主体的に自己開発をすることができます。eポートフォリオ学習は、個々人の望ましい特質をその人自身が引き出すことのできる人類の夢の情報メディアの実現です。

イントロダクション



eポートフォリオとは何か

「eポートフォリオ」という言葉は新しい言葉なんですけれども、「ポートフォリオ」という言葉はこれまでも社会の中で広く使われてきました。

「ポートフォリオ」。これは「紙ばさみ」とか紙を入れるファイルのことを意味しています。その中に自分の作品、あるいは学習であれば、記録したものを放り込んで束ねていく。そうするとこういう厚みのあるファイルができる。これがポートフォリオです。その中には自分の学習履歴、いろいろ学習したことが詰まっているものになっていくわけです。これを5年、10年と続けるとたいへん立派なポートフォリオができていく。そこに自分の学習の成果物、そして知識を育んだものが全て記録されているというものができていきます。それがポートフォリオです。

で「e」が付くんですけれども、この「eポートフォリオ」というのは、それをITを使ってもっと、物理的なかさばるものではなくて、パソコンを使って、その中にデータが入る。その中に蓄積されていくというものです。それが「eポートフォリオ」なんです。



「興味」を引き出そう

これまでと何が違うのかというと、それは与えられたものを受け取るという学びとはちょっと違って、自分が興味のあるもの、何を学びたいんだろうかということを中心にしているいろいろなものを集めていく。そして調べていく。そして自分の知識に変えていくということなんです。それを支援する一つの方法がポートフォリオ学習なんです。

このポートフォリオなんですけれども、この中に5年間、10年間、あるいは20年、あるいはもっと何十年の自分の学習の成果物が蓄積されていきます。蓄積することが目的ではなくて、そこへ蓄積していく過程でいろいろなものを学習していくわけです。その中でいろいろな発見もあります。感動もあります。そういうものが全

て綴られていく。記録されていく。そういうものになっていきますね。その絶え間ない繰り返しというものがポートフォリオ学習というものです。どうやって自分の興味あるものを引き出していけばいいんだろうか。こういうところがまず出発点になります。「あなたは今一番どういうことに興味がありますか。」という問いかけから始めてみたいと思います。



eポートフォリオの事始め

いろんな人たちに話を聞くと、自分は何をやりたいのかな、というのが意外とわからないでいたりする人たちもいるんですね。それから何かいろいろ熱中してやっている人たちもいるんですけど、例えば、パソコンという道具とそれが結びついていなかったりというケースもよくあります。これがお互いに結びついたり、その道具を使うことによって興味を引き出されてくるというふうなことがあるわけなんです。この辺もeポートフォリオというものの一つの面白いところなんです。

この方法は最初は私が始めました。「私が始めた」というのは、今から7年ぐらい前に、自分のポートフォリオをパソコンを使ってど

ういうふうにはできるんだろう？ というモデルケースから始めたというのがそもそもの出発点です(下記の『マッピング霞ヶ浦*』)。

ビデオで映像を撮ってくる。で、それを素材にして整理をしてみる。するとそこにいろいろな物語があるということに気づくんですね。で、いろんな発見がある。それもただビデオで撮っただけでは意識しなかったものが、ちゃんと画像にして、ホームページになって見れるようになって、そしてそれがしっかり確認できるようになってくるわけです。すると自分にとって意味のあるものがそこに見出されてくる。それを言葉で表現すると、一つの記録になるわけですね。そこで学習したことの意味づけができるわけです。これが私のポートフォリオの原点のようなものなんです。

そしてそれを一つ、二つ、三つと、二月、三月...というふうに積み上げていくと、最初20ページぐらいだったものが、次第に100ページ、200ページ、それが5年、6年、7年と続いて今は6万ページぐらいになっています。それぐらいの規模にまで成長していくわけです。5年、6年、7年経って数万という数なんです。これが多いか少ないかっていうのは見方によって違います。それから量を競うものでは決してない。ただ、ずーっと連続してそれが切れ目なく今に続いているっていうのが、私の生涯学習のページ作りだったんですね。なんでそういうことができるかっていうと、これはコンピュータ、道具を使っているからなんです。今私たちのところで開発をしているポップコーン(PopCorn)、プッシュコーン(PushCorn)というソフトを使っています。これを使っているんで、作るのがとても楽なんです。続けるのがとても楽なんです。毎回、新しい発見がある。すると、それをまた画像にして追加する。でそれを記録する。整理する。これを繰り返していきます。これはとても面白い。そしてそれが負担なくできることが長続きする上でとても大切なことなんです。

eポートフォリオの事始め『マッピング霞ヶ浦*』(前川道博)

<http://www.kasumigaura.net/mapping/>

トップページ

目次のページ

No.	項目	クリップ数
Y01	(03/12) 『霞ヶ浦画像集』まついて	-
Y02	(03/12) 身ぶ野に木立から湖畔へ	14枚
Y03	(03/12) 下流から沖宿へ	15枚
Y04	(03/12) 沖宿の湖畔・電線から	7枚
Y05	(03/12) 沖宿の湖畔・笠田から	11枚
Y06	(03/12) 沖宿の湖畔	15枚
Y07	(03/12) 沖宿の湖畔・周囲の景観	17枚
Y08	(03/12) 沖宿一帯の風景	17枚
Y09	(03/12) 沖宿から望む上流の風景	15枚
Y10	(03/12) 沖宿・周囲の風景	19枚
Y11	(03/12)	
Y12	(03/12)	
Y13	(03/12)	
Y14	(03/12)	
Y15	(03/12)	
Y16	(03/12)	
Y17	(03/12)	

1997年1月にわずか20ページから始めた。生まれ故郷「霞ヶ浦」の諸々の出会い・記憶・記録を思うがままに綴ろうという意図で始めた。何を伝えたいかを「トピック」(ページ)ごとに綴っては、1ページ、1ページと追加してサイトを成長させていく。今から振り返ればまさに「eポートフォリオ」であった。

始めて見ると、表現したいもの、伝えたいものがたくさん沸き上がってくる。テーマや企画は尽きることなく、むしろ際限なく沸き上がって、...5年、6年、7年...と長続きするサイトになった。

その間、ページ数は増え続け、トピックで4,000、クリップのページまで含めれば60,000。まだまだ増え続ける。

「PopCorn」というソフトを開発してサイト全体を自動生成している。これが楽にできる、長続きしている秘訣でもある。

トピック
(個々のページ)



かさばらない

これまでのホームページ用のソフトを使うと、なかなか一つ一つのページを作るのが大変だったりしました。そうすると作るのを目的にしないとなかなか長続きしなくなったりして、結局はそれで挫折してしまったり、それが大変なために自分の考えていることが引き出されなかったりする。興味が引き出されなかったりする。そういうふうなことでいるんな阻害要因が外側にあったと思います。それがこういう道具を使うことによって、とても楽になってきたんですね。これがeポートフォリオの、道具を使うと効果的に進められるという側面。そしてとても長続きするということなんですね。

で5万ページ、やがては10万ページというふうになったとして

も、これは決してかさばることがないんですね。

これは、例えば、ホームページの一つ一つのページをプリントアウトして紙にしたとしたらどうなるか。これはとても(手を上げて)こういう厚さではありません。(さらに高く上げて)こうもなりません。(さらに高く上げて)こんなものじゃとても収まらないです。ものすごいファイルをずらっと並べることになりますね。こういうふうに物理的にかさばったもので、さらにそれを蓄積していくというのは難しいですね。

それからここにあるものも、前に作ったものも手直しをしたい。それから統合化し直したい。編成し直したいということがあってもなかなかそれができないわけです。

ですから、こういう道具を使うとそれがとても楽になる。そしてこんなにかさばることもなくですね、何十年でも続くということになるわけなんですね。

それでホントにポートフォリオを作るということがとても楽になりました。

紙ベースのポートフォリオは？



こういう厚さではありません。



こんなものじゃとても収まらない。



ものすごいファイルをずらっと並べることになる。

eポートフォリオだと...



5万ページ、10万ページとなっても、決してかさばることがない。eポートフォリオの道具を使うととても長続きする。

興味引き出し法



「興味」の引き出し方

ポートフォリオ学習で大切なことの一つ。それは「興味」の引き出し方ということですね。自分の興味あることの引き出し方。もちろん自分で興味のあることがある人はいいんです。それを育てていけばいいんです。なかなか興味を発見できないでいる人もいたりするんですね。ですけれどもいろんな人たちに聞くと、じゃあ、何もやらなくていいのかということではなくて、本当はもっと楽しいこと、面白いこと。これを探しているんですね。その声がとても切実だったりするんですね。そして実際にポートフォリオ学習を始めて面白かったという話を振り返っていただくと、本当はそこに自分の生き様というか、人生観、生き甲斐とい

うものを創造したいんだっていう気持ちがとても強いということを感じたりしています。

そういう、とても「生きる力」になる。支えになる。そういう意味も持っているものがポートフォリオ学習なんです。

自分の興味の引き出し方というところが一つポイントになります。で、これは、人から言われて興味を発見するものでもないですよ。ですからそこが最初難しいところかもしれないですね。それでこれまで私の大学では、公開講座を何回かやりました。そしてポートフォリオ学習のいくつかのテーマ、切り口をメニューとして用意してきました。最初の公開講座は4回シリーズでやりました。それは最初は「環境学習」、それから「自然観察」、それから「地域学習」、それから旅のレポート「旅れぼ」。こういうテーマ設定でやったんですね。

いろいろなものが学習の入り口なんです。そして興味あるものの接点になっているものなんです。「旅」をするから、それは「学習」ではない、ということではないんですよ。それから遊びをしている、スポーツをしている。だからそれは学習ではないということではないんですね。それも全て興味あるもの、学習の対象なんです。「興味あるもの」なんです。

ややもすると学習するということと遊ぶ、それからどこか旅をして楽しむことが違うものであるかのように誤解をさせてしまっている。これは見目はないはずですね。そこに自分の本当に興味のあるものがあるはずなんです。あるいはそこから自分の興味あるものが引き出されていく。発見されていくはずなんです。そこに気づいていただくということが、また大切なことなんではないかな？ と思います。

2002年度東北芸術工科大学公開講座

「PushCornワークショップ『楽しく協働学習』」

<http://www2.yamagata-net.jp/ws/>

モデルケース
「PushCornワークショップ～楽しく協働学習」

- 2002年度東北芸術工科大学公開講座
環境学習編、自然観察編、地域学習編、旅れぼ編
子どもから大人まで、スキルレスで「eポートフォリオ学習」

「PushCorn」で
eポートフォリオ学習

「PushCorn」サービスで
「eコミュニティ」創造

2002年度・東北芸術工科大学公開講座
PushCornワークショップ「楽しく協働学習」

6回の学習サイト

- 【1】環境学習編「エコウォッチ in 山形」
開催日：2002/05/18-19
講師：中澤正幸（環境学習アドバイザー）
総括講師（本講座コーディネーター）
- 【2】自然観察編「山の自然観察①」
開催日：2002/07/27-28
講師：伊藤孝幸（山形大学助教授）
総括講師（本講座コーディネーター）
- 【3】地域学習編「山の地域づくり」
開催日：2002/08/10-11
講師：伊藤 隆（農業インターネットクラブ会長）
総括講師（本講座コーディネーター）
- 【4】旅れぼ編「旅の楽しみ方」
開催日：2002/12/14-15
講師：尾崎美香（Webデザイナー・旅れぼ実務者）
総括講師（本講座コーディネーター）

自分の興味の引き出し方を体験するワークショップ



デジカメとビデオカメラ

デジカメとビデオカメラ

自分の興味の引き出し方。これにはいろいろな方法があります。文章を書くのが好きな方は文章を書いていくといいですね。それから写真を撮るのが趣味の方もいらっしゃいますよね。写真を撮っていただければいいんです。それをポートフォリオに入れるっていうふうなことを考えるといいんです。

今、いろいろな道具ができています。(デジカメを手にして)一つはこういうデジカメですね。デジカメ、ちょっと開いて、こう撮ればすぐ撮れます。こういうものがあります。

パソコンにこれを取り込んですぐに入れることができます。デ



デジカメは手軽に記録できる強力な道具



ビデオカメラもまた強力なツール

ジカメはeポートフォリオを作る、とてもいい道具の一つになりますね。

それからビデオカメラですね。(手にして)こういうビデオカメラ。今、インターネットで動画配信などもできるようになってきました。ビデオで撮ったものがインターネットで流せるようになってきました。するとこれもまた大きな可能性を広げるわけです。

それから私は普通ビデオカメラを使っているいろいろなところを撮ってきています。それを素材に使っています。デジカメでなく、なんでビデオカメラを使うのかというと、たくさん撮れるからなんですね。これも意外と気づかない方法かと思って、ここでご紹介したいと思っています。

ビデオカメラですとたくさんこう回せるんですね。そしていろいろな対象物は動いているわけなんですね。時間を伴っているわけなんです。車に乗っていれば車が動いています。人も絶えず動いて活動しています。その時にビデオカメラですーっと回していると、それを連続して撮ることができるわけなんですね。するといろんなものがたくさん撮れます。そして、デジカメですと、どうしても最初から選んで撮るということをやります。ですから瞬時に「あれを撮りたかった」という時に撮れないんですよ。ですけれども、ビデオカメラを回していると、それを撮り損なうってことがないんですね。それから経験的にはデジカメは失敗も多い。ガシャッと撮ったけれどもブレていたということがある程度の確率で起きます。ですがビデオカメラで撮れているものはたいてい静止画としてもちゃんと撮ることができるという点で意外と撮り残しが少ない。失敗が少ないんですよ。ということでビデオカメラを使って撮るという方法をよくとっています。

ビデオカメラだと動くものを記録できる



例えば鳥の動きが連続で再現できる...





発見と感動は大きな力

発見と感動は大きな力

ポートフォリオというものは結果として作られていくものなんですね。作ることを目的とするというよりも、作るプロセスが一番の面白さがあります。結果的にこうポートフォリオが成長していくんですね。で、自分の知識も成長していくわけです。学習が豊かになっていくわけですね。その証拠としてポートフォリオがある、というような関係かと思います。

ですから「発見」と「感動」。これがとても大きな力になりますね。それから自分自身にいろいろなものがフィードバックされてくる。返ってくるわけです。この手応え感が非常に面白いということかな、と思います。それがまた自分の中にある「興味」を

引き出という力になってきたりしますね。

あることについて調べると、今度はまた違う興味が湧いてくる。そこからまた違う発想が、視点が生まれてくる。こういうものがどんどん連鎖していきます。これは際限なく続きますね。ですから、一生、興味を持続させる大きな力になります。そういうふうな興味を引き出す。そして、繰り返し繰り返しやることの面白さを引き出していくということなんですね。これがポートフォリオ学習を生涯学習に活かしていく。生涯学習にポートフォリオ学習を活かしていくということの面白さです。



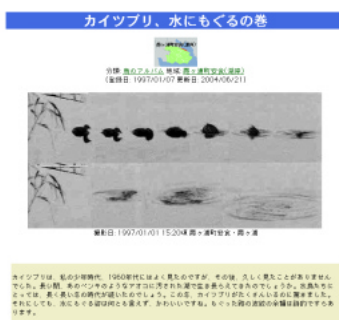
表現を楽しもう

表現を楽しもう

ポートフォリオはeポートフォリオという形にすると、ホームページという形になってきます。人に見せることができます。人に見せるよりも前に、自分が見るために形になる必要があるんですね。ここもeポートフォリオのいいところなんですね。人に見せる前に自分が最初の閲覧者になる。見る人になるわけです。そして、まず自分自身に返ってくるわけです。そこでよかったかどうかという手応えがある。自分自身に返ってくるわけですね。そこがとても意味があるところなんですね。そして同時にそれが人にも伝えることができるわけです。

するとどういった可能性が広がってくるかということなんですけれども、そこはまた一つの「表現空間」なんですね。表現する世界なんですね。それがまた面白いという面になります。同じビデオ、あるいはデジカメで撮ってきた素材の組み方で全然違います。それからその見せ方。いろいろあります。それから文章で表現するというのも千差万別。非常に表現の幅があるんですね。

ですから割と決まりきった素材で組み立てるように見えても、それは人によって表現は全然違ってくる世界なんですね。そこに自分の個性が表現される。そして自分の視点というものがそこにしっかりと表現できるわけです。そういう表現の面白さというものが生まれてきますね。それを追求する面白さというものもポートフォリオ学習の中にはあります。



eポートフォリオは「表現空間」。自分の視点がしっかり表現できる。

デジカメ撮影に夢中になれるのは、そこが「興味ある世界」に変わるから。

「e」のアドバンテージ



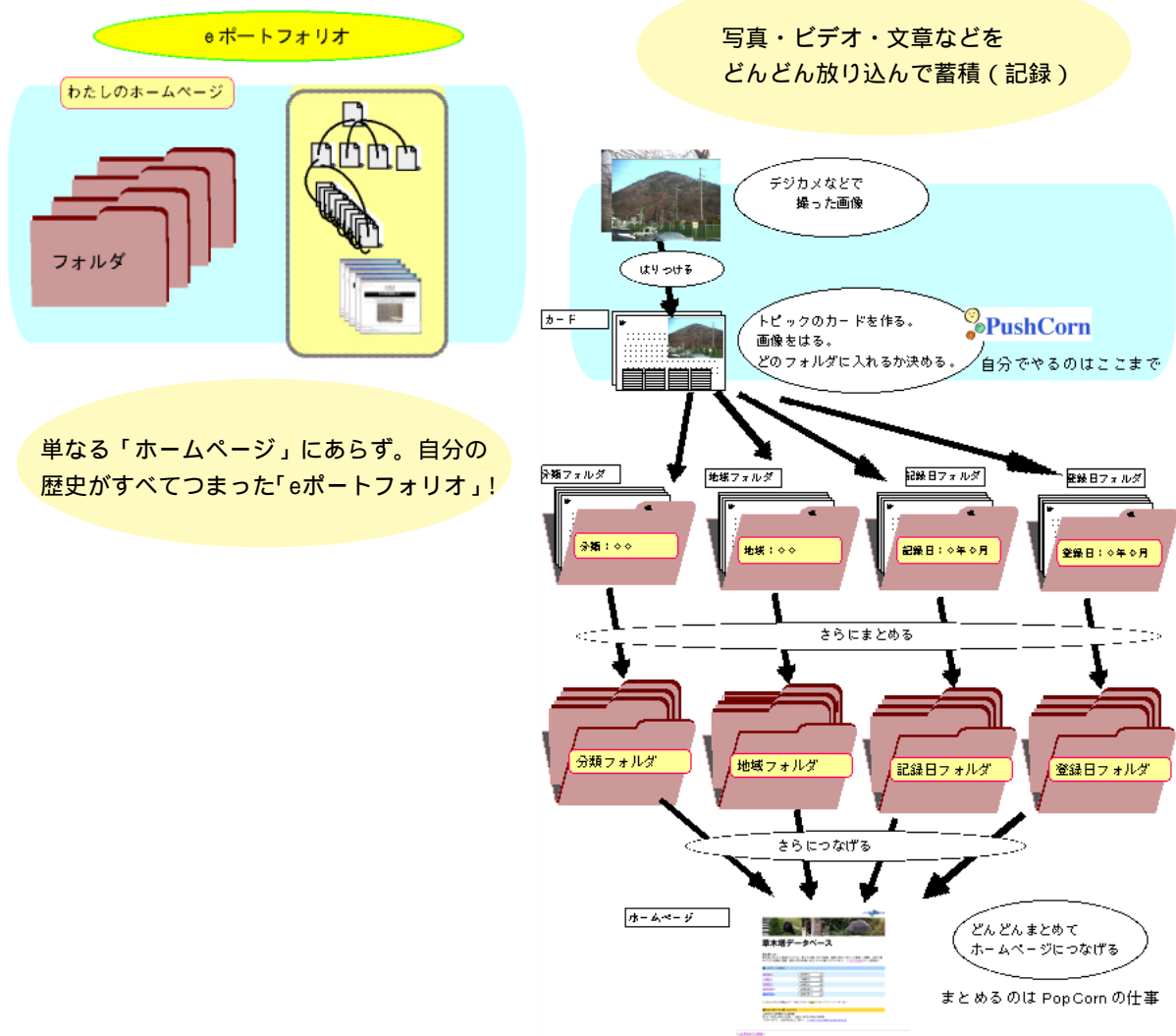
生涯かけてフォルダに分類

ここでeポートフォリオがどういうものかっていうのを図の方でご説明したいと思います。ここに出ているものですね。写真とかビデオとか文章とか、こういうものをどんどん放り込んでいきます。これにタイトルをつけます。名前をつけます。そしてそれをどう分類でどこに入れればいいのか？というのを考えて分類していきます。

するとフォルダごとにいろんなカード、情報が仕分けられますね。それを整理して束ねていくと、とても大きな入れ物になります。これを束ねた全体がホームページ、ウェブサイトになるわけですね。これが最初は百ページでも、やがては千ページ、1万ペー

ジ、10万ページととても大きくなっていきます。こういう入れ物、こういう概念なんですね。

一生涯かけて、そして日々更新していくものですから、この更新がとても簡単でないでと長続きしませんね。データをいくらでも蓄積できる。こういうふうなものが必要になってきます。それで必要な道具立てがプッシュコーンというものなんですね。



単なる「ホームページ」にあらず。自分の
歴史がすべてつまった「eポートフォリオ」!



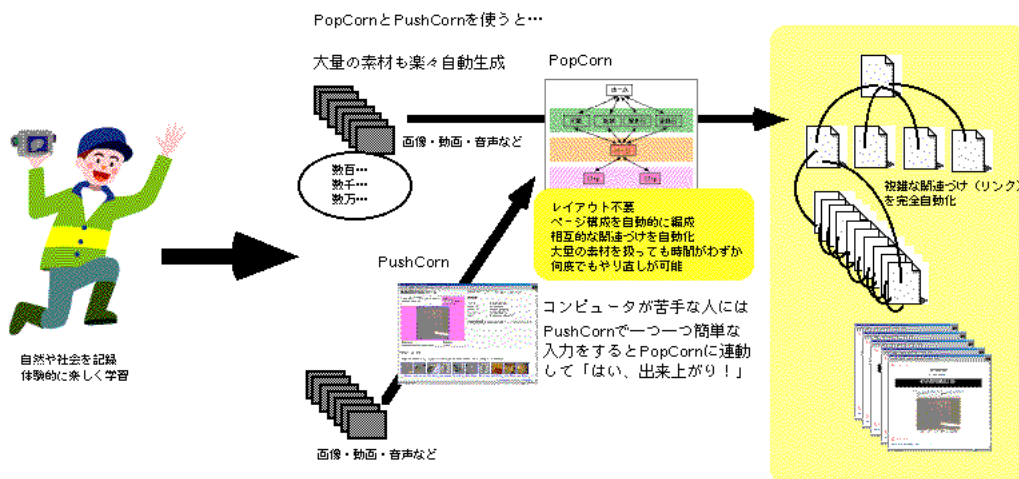
長続きできる道具立て

長続きできる道具立て

ホームページを作る道具はいろいろあります。ここで具体的な名前は挙げませんが、そうした多くのソフトは、たいてい一つ一つのページを作るためのソフトになっています。ワープロに割りと同じです。ページを作るソフトです。一つ一つのページは作れるんですけども、それでもちょっと手間もかかる。ポートフォリオは、むしろたくさん束ねたものをいかに全部見れるようにするか。ここがとても大切なわけですね。

すると、何十ページ、何百ページというのを作るのは大変なことですね。一つ一つページを作る。これでも大変なわけですけども、これにさらにリンクをはる。構造を作る。こういうこと

をする。とても手間隙かかるわけですね。ですから、普通のホームページ作成ソフトでこれができるかということ、できなくはないんですけども、かなり大変ではないかなと思うんですね。ですから小さなものを作るのなら、それで何とかがんばれるにしても、5年、10年と続くものにはちょっと耐えられないものになっていくのではないかな、と思います。そういう問題があります。ですから道具立てというものがとても大切になってきます。



情報アーキテクチャの支え

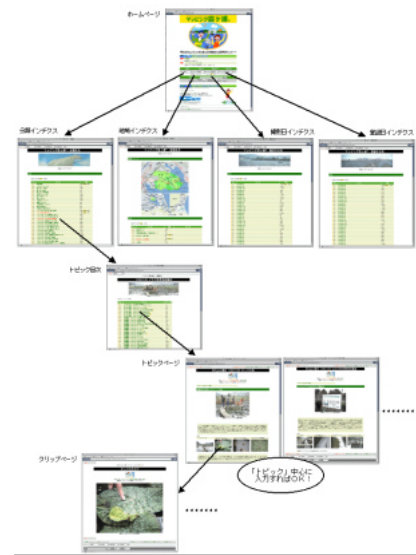
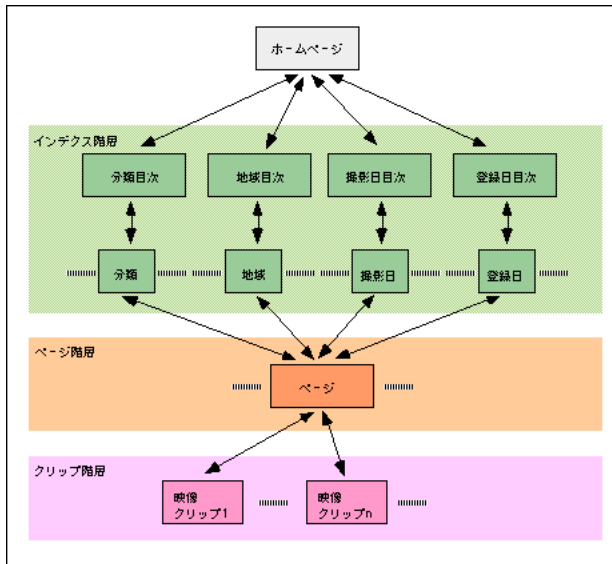
情報アーキテクチャの支え

ホームページは比較的簡単に誰でも作れるというわけではないんですけども、それでもソフトの使い方を覚えればできなくはありません。それでも誰でもすぐにぶつかってしまう壁があります。それは何かと言うと、構造を作るってということなんです。ホームページを作るということは1つのページを作ることではないんです。いろいろな知識の体系、情報の体系があります。そして自分はそれをどういうふうにつまえているのか、分類しているのか。こういう構造を作るものでもあるんですね。そこはなかなか考えるのが難しかったりします。

ですから2ページ、3ページ、4ページ。簡単なホームページは誰でも作れるんですが、これが100ページ、1000ページという規模になった時に誰もがもてあましてしまう。壁にぶつかってしまうんですね。

これをどのように乗り越えるかというのが課題になってくるわけなんです。それで壁ができてしまうと、とてもではないですが、5年、10年...続くものにはなりません。

私たちの考えた方法は、「情報アーキテクチャー」と言います。情報もアーキテクチャーがある。構造があるんですね。構造を作って支えてあげると誰でもホームページが作れて、成長できるホームページが作れるということなんです。

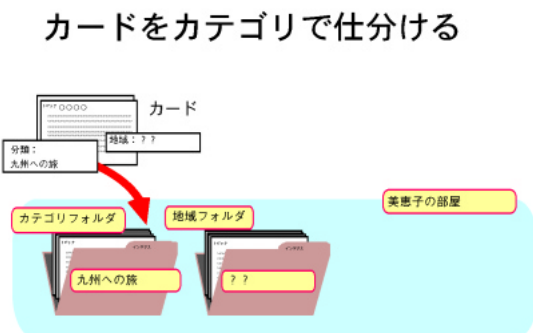
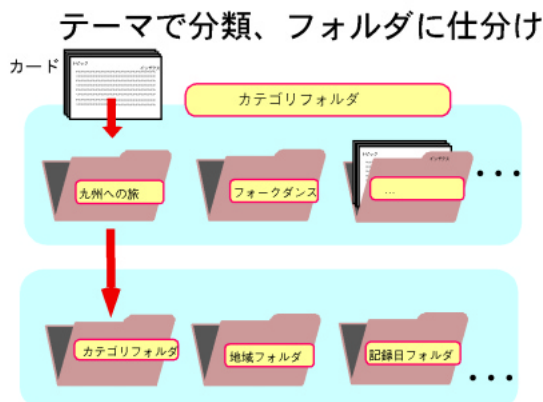


分類の仕方を学ぼう

最初は分類の仕方がわからなくても、だんだん学習していけばわかるようになってきます。それはとても大切な学習の意味のあることなんです。最初はわからなくてもいいんですが、それがたくさん積み重なるうちに、だんだん発見されてくる。そして整理の必要性がわかってくる。そして自分の整理ができるようになってくる。ここまでできれば立派なものです。

これをどういうふうに整理するか。これをシステムの側で支援してあげるととても楽になるわけなんです。そして本当に自分が考えているように情報が整理できるようになっていくわけですね。ここがとても大きなポイントです。普通はそういう支援体系

がないので、どうしても途中で挫折してしまったり、大きく育てることができなくて、途中でやめてしまったりするわけなんです。生涯学習ですから、一生涯続けるということが目標ですから、これがどのように支援できるのかな、というのが長年の夢だったんですね。



eポートフォリオは夢の実現



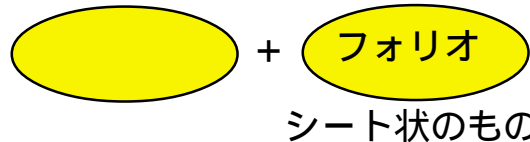
ポートフォリオは脳の外在化

端山先生と私はこの前段のメディアの、人のために役立つメディア、学習のために役立つメディアということと一緒に考えてきました。その結果、この「eポートフォリオ学習」というところにもつながっているわけです。

端山 そのポートフォリオという名前の着眼ですね。これが非常に重要なヒントになっていますね。ポートフォリオってご存知のようにね、紙状、シート状になったものを集めて入れて持ち運ぶもの。「ポート」「フォリオ」ですね。運ぶものっていう意味で「紙入れ」ってことになっているわけですけども、何でこういう



ポートフォリオの概念



人類のメディアの進化



ものができたかっていうことから考えると、これが非常に面白いのですね。これこうやると話が長くなるけど、歴史が長いんだからしょうがないので、ちょっと辿っていくと、~~運ぶもの~~人間が記号を最初に書いたとはどこかという、土の、砂の上とか、木の切れ端に何かこう傷をつけたとか、一個の時、傷をつけて、二個のとき、もう一個傷をつけてとか、そういうところから始まったわけですね。相手は砂だとか石だとか、でかい、持ち運びも不便な、そういうところから始まったわけです。

それで紙になったときに一番ありがたいことは、勝手に大きさを決めて、自分が使いやすい状態にして、それを集めて積み重ねますと10枚や20枚軽く積み重ねることができる。その上に乗った情報量はロゼッタストーンどころじゃないですね。こういう歴史を経てきたときに、ポートフォリオの「フォリオ」。フォリオというのはシート、もともと葉っぱという意味なんですね。1枚1枚に分かれているものがフォリオです。これの価値がどれほど大きいかわかるじゃないですか。それが人間の技術が長い間かかって、ようやくここまで来たものなんです。もう一回これを辿って考えてみると、なんで人間の技術がここまで辿ってきたのか。来たがったのかということ、情報の処理をする脳の構造。脳の情報処理の構造がそのようにできているからなのです。

で、今、この「eポートフォリオ」。これを電子で、コンピュータの上でやりますね。と先からおっしゃっているように重さがない。かさばらない。ですから、このブック型(ノートパソコン)を1枚持っていれば、世界中どこへ行っても何千冊かの本に値する情報が、この中に何千ものポートフォリオがここに入っている。何万も入っているわけですね。そうするとこれは厚い本とか、厚いホントのポートフォリオを持っていなくてもいい状態。ということは、元々の脳の状態に近くなってきたと言ってよくないでしょうか。

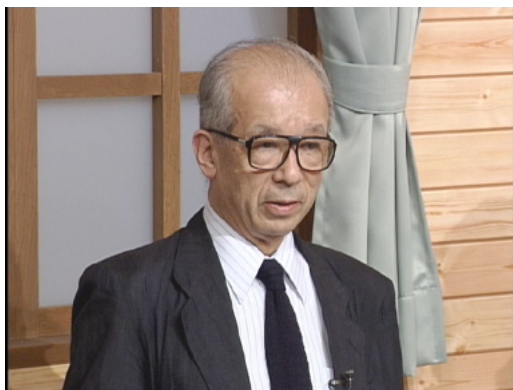
やはり人間のテクノロジーというのは、一番必要なことを一番楽なようにするために。手で持っているのは重くていやなんですよ。ですから頭と同じことを、頭脳と同じことをするものをコンピュータについにやらせることができるようになった、ということが「eポートフォリオ」だということですね。



人類は自己実現に踏み出す

メディアと教育、教育支援のメディアという観点からはどのようにお考えになりますか。

端山 そう。それでね、もうこの頃は、私は教育ということを考えていないんです。「学習」なんです。自己開発、その前に自己実現。要するに人間が人間として成立していくことを自分で一生懸命やっていく。その時には昔から皆さん、学校でがんがん教え込まれたようなあの教育よりも、自分にとって必要な機能が手元にある。それでコンピュータにここ（手）で触ると、世界中のあらゆる情報を手に取ることができるようになる。そういう機能があるとね、従来のあのタイプの学校というのは、あんまりいらなくなってくる。その助言者、支援してくれる人さえいれば、これは本当の教育者じゃなくても、あることについてよくよく知っている人がいれば、その人に「これはどうなんでしょう？」って言うと、「これは実はこういうことなんですよ」と教えてくれる。別なことは別な人に聞く。これも別な人に聞く。ところがインターネットでコンピュータの上でやると、その別な人、別な人が、たくさんの方がこの中に入っちゃっているわけですね。こんなありがたいことないじゃないですか。そうすると、もうがんがん教え込む教育じゃなくてよい新しい形を考えた方が自己実現…。一人一人違うんですよ。顔が違うように、一人一人の特性が違う。そしたらその特性が一番活きるような形の支援機能が望ましい。これ



れが、確定した現代の方向性です。その意味で言うと、eポートフォリオが何をしてくれたら一番いいか。もう回答は見えていますね。教え込むのじゃ困るんです。

それで先ほど言われた「教育」という言葉で言うと、educationという英語がこれなんですけれども、educationというのは実は語源的に言うと教え込むという意味じゃないんですよ。あれは「引き出す」という意味なんです。「eduko（エドゥーコ）=引き出す」をすることがeducationですね。これは引き出すということなんです。何を引き出すかという、一人一人が持っている望ましい特質。一番望ましいものをその人から引き出すことが教育だと。これはラテン語ですからローマ字。もう2000年も前に彼らはそう考えていたわけですね。ところがいつの間にか、解答があるものの解答を教え込むのが教育になってしまった。このおかげで人は非常に潰されました。主体性が潰されました。その意味で教育を超えた本当の意味での自己学習のためには、誰によっても潰されることのない…。自分がこれは必要だと思ったらこれがある。これがわからなくなった時には、この点については何だろうと考えると、その情報はまた別なフォリオに書いてある。別なポートフォリオを探してくればいい。今は人類の歴史の中で殆ど初めて人々が、一人一人が主体性を持って自己実現をすることが可能な世界の入口に立っている。こういうのを見るとその実感が非常に強いですね。ですから、非常に大事なものを始めてくれたと思います。



自分の可能性を引き出そう！

ポートフォリオ学習についていろいろ考えてきました。そして、皆さんのご意見などもご参考にしてきました。ポートフォリオはこれが答えだってものはもちろんありません。自分で考えて、じゃあ、どうしていけばいいんだろう。自分で答えを探していく。そこに一番の面白さがあるんですね。それを常に自分に問いかけていただきたいって思います。

eポートフォリオ学習実践の事例とアイデア

<協働学習企画ケース>

<http://www.kasumigaura.net/ecowalk/>

エコウォーク in 手賀



杉浦正吾さん（環境カウンセラー）

2001年、千葉県沼南町の環境学習イベント「エコウォーク in 手賀」で、学習チームがゴミ拾いなどしながらカメラで撮った環境の記録画像集を全てネットに公開した。

イベント後も参加した人たちからコメントをもらったり、タイトルを付けたりしながら、行政・市民・学校が連携して、環境学習の記録を共有する協働学習の試みを先駆けた。

エコウォークはですね、沼南町の役場の方がネットワークまちづくり課という課を、新しく立ち上げて、生涯学習審議委員というのを町から募った訳ですね。子供から、お年を召した方まで、目的意識を持って、ずっと豊かに暮らせるような町づくりをしようというような発想で、みんなで色々話し合ってきて…。最初は町の方から出た話です。ですが、主体は「まちづくり研究会」みたいな会があってですね。市民の代表です。まちづくり研究会と地域の方々と学校と三位一体でプロジェクトを進めてきたというのが最終形ですね。

あれは、PopCornを当時紹介いただいて。結局その環境問題と言うか環境学習の中で、表に出てですね、情報として写真を撮るなりなんなりという方法がありますけど、一つもその拾った情報を削除しないと。全てを載せられると言う所がまず一つ面白いなという気がして。かつ削除しないで持ってきた画像をですね、その時でもいいし、遅れてからでもいいですし、コメントをつけていくと、というような事が出来る。アーカイブをしておいて、後で思い出して語る事も出来るし、アーカイブが割と簡単に自由に行ける。その二点で、環境学習には結構向いているのかなと。

あの試み自体は、教頭先生の全国の会議というのがあるらしくて、そこでは高く評価されたというふうに、手賀中の教頭先生がおっしゃられていて、「よくここまでできたね」と…。

みんなから寄せられたコメントは下の画像をクリックすると見られるよ。

みんなが撮った写真

(10件)



今また、同じノウハウでやれば、今度は割と、子供たちとか、学校の先生たちが自分たちが作る。それこそ、今時代がNPOとかNGO地域の市民の方々の協力が得やすくなっていますから。その中から優秀な方を募ってもいいでしょうし。

今もう割と総合学習というのは、高校でも必修化されて、あたりまえのように授業の中に入ってきた訳ですね。そうすると環境学習だけでなく総合学習のノウハウが蓄積されてると思うんで。それを当時やったノウハウにつっこむと、面白いものができるような気がしますね。

学校でeポートフォリオ～東根市立高崎小～



東根市立高崎小学校
教諭 鈴木伸治さん

鈴木伸治さん（東根市立高崎小学校教諭）

授業の実際を伝えるには言葉だけでは不十分である。写真やビデオ映像があって初めて他者に理解してもらえるものとなる。しかし、ホームページ作成ソフトを用いるとページ制作に時間がかかり、多忙な状況の中で、そのために時間を割いて対応していくことは難しいと考えていた。（略）早速、これ（PushCorn）を授業の実践記録に役立てることを考えたのが、「eポートフォリオ」実践の始まりである。（鈴木伸治）

（月刊『視聴覚教育』2004年7月号から）

「初めに教えることがありき」ではなくて、自分たちが疑問に思ったことを自分たちで解決していこうというふうなところから。

子どもたちが全部企画しています。子どもたちと一緒に作っていくような感じで、基本的には子どもたちが主体ということで授業を進めています。

ポートフォリオをお互いに見せ合うことによって、「こういうところがいいね」とかいうように他の人のいいところに気づいて、更に自分の意見も認められたなんてなれば、最高に嬉しいだろうし、学習が凄く充実したものになる。

こういうのがあれば、私たち指導者としても、この子はこういうふうな考え方をしている、今度は友達のいいところを取り入れたってということは、成長が見られるわけですね。その成長のところ、評価できていけるだろうと。そこが一番いいところではないかなと思います。

子供たちに本当につけさせたい力は何かというふうに分で捉えた時に、もちろん教科独自の内容というか。あと、そこに意欲がないとそれとうまく関連していかないのだろうと。そればかりやっていると途中で飽きてしまうし、挫折してしまうし、ということが起きてしまう。自分がやりたいことがあって、そのやりたいことを到達していくためにそのスキルがうまく融合されたときに、はじめてそのスキルの意味も出てくるし、私たちが狙っている、自分たちから進んでやるといったところの力も伸びていくし、ということで。どちらも重視しながら、総合的に高めていければいいかなって思っています。



東根市立高崎小学校
校長 海野丈芳さん

海野丈芳さん（東根市立高崎小学校校長）

（ポートフォリオ学習は）子どもが一番見えてくる方法だろうと思っています。また、私たちの指導の方向というのと、それから中身といいますかね。そういうのがより明確に見えてきて、子供が見えて、教材も見えて、指導の方向性も見えるという非常に有効なやり方ではないかと捉えています。

簡単に言うとスパイラル（らせん状に上昇する）に続いていくというふうにつまえていい。子どもたち自身が積みあがっていくことが自覚できる。

チャレンジキッズ



太田容次さん

(滋賀大学教育学部附属養護学校教諭)

チャレンジキッズ研究会は、障害のある子どもたちが、「学びの共同体」を育てていくことを研究し支援する養護学校の先生方の全国横断の研究会である。2004年は愛媛にメンバーが集まった。

滋賀の養護学校では、2003年に学内にPushCornサーバを構築し、太田さんたちが子どもの「eポートフォリオ学習」の実践に取り組んできた。

ここは、愛媛大学附属養護学校です。チャレンジキッズ研究会のメンバーが全国から集まっています。

ここで、「eポートフォリオ」について養護学校であるとか、地域の特殊学級などで使われている。もしくはこれから使っていく上でどうかということで、チャレンジキッズ研究会で試しにいくつか使ってみた話を元に、みんなで考えてみたいと思います。

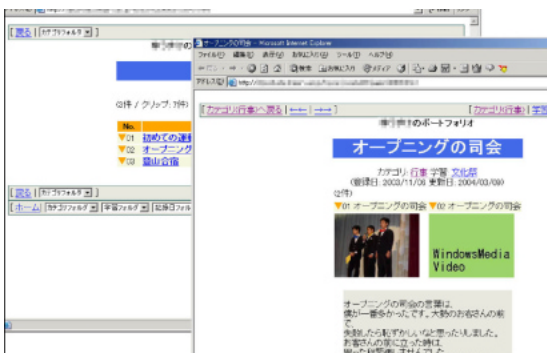
まず最初に私、昨年度（平成15年度）の取り組みとして総合的な学習の時間に、子どもたちが実体験した事を、日頃、日記とか作文とかで、しかも、振り返りの材料としては、カメラで撮った動画をテレビで一斉に見る。こういったプロジェクターなんかを使って一斉に見て、それを元に振り返って作文にするというような取り組みとをずっと続けてるわけですけど。

それとデジカメで撮った静止画、それからビデオで撮ったビデオクリップに初め生成しておいた、ファイルサーバに置いて、自分が好きなように振り返りながら、自分の好きなデータを組み合わせながら。そしてさらに、数行の感想を組み合わせる、みたいな取り組みをしました。

そうすると、これまで、例えば運動会であるとか文化祭であるとか、全く作文の書き出しに20分かかって、1行書いて鉛筆で消して、40分の授業終わったら結局2行ぐらいしか書いてへんかったような子どもが、自分のペースで、自分の目線で振り返り、さらに、それを自分の中でPushCornを使って、振り返っていく中で、あっという間にWebページを仕上げた。担任と課題別学習を担当する教員はそれを見て非常に驚いて。その違いはなんだろうなということ。昨年度から研究の観点からまとめてみたんですけども。

学習活動で（PushCornを）使う部分を限定する事によってほとんどの子供が使えましたね。軽度の子供たちについては。

むしろ出来上がりの完成度の高さと、また後から振り返りに使ってみても、前残った。例えばある障害持ってる子の感想として面白かったのが、「自分は忘れる事がかなわんから、ずっと日記を書いたりメモしたりしている。でもメモしたものがどっかいくねん僕は。でもこれが、こういうふうに溜まっていると、いつどんなことをやって、どんなふう思ったか、振り返れて、それが非常にいい」みたいな感想だったんです。



紙と鉛筆では自己表現が難しかった子どもが PushCornを使ったら豊かな表現をするのに驚いた

子どもを育む教育のアイデア



杉浦正吾さん（環境カウンセラー）

杉浦さんには環境学習イベント「エコウォーク in 手賀」の話に続き、学校でITを活用した協働学習がどんな具合に展開できるか、アイデアをお聞きした。

（聞き手：前川道博）

---- 今は、いくつかこう、条件がだいぶ変わった、一つはもうデジカメがかなり普及した、

杉浦 しかも今、デジビデ、というか動画ですよ。動画のクリッピングというのですか。まだ私はそこまであまり体感した事がないですけども、話にはうかがってます

ね。それは本当にそうになってくればすごいなと思いますね。そういう時代なんでしょうねもう。

---- エコウォークで写ルンですで撮ってた。あれがまずデジカメに変わりうるんでしょうけど、加えてビデオで撮ってくる。デジカメだと選んで撮ってくる、デジカメだと選んでパシャパシャと、それはそれで選んだ事に意味があるんでしょうけれども。

杉浦 ビデオで撮る良さというのは、静止画は意図的に撮るわけですよ、ですがその動画は意図しない何か、事件が起こる訳ですね。その事件というのは「トンボが飛んでくる」でもいいんですけども。そういう突発的な面白さというかな。動画の良さですよ。それはまた後で編集してもいいです。

文科省の制度で、学校評議委員制度というのがあって、去年からとある評議委員やってるんですけども。そこで、校長先生と話してた中で。子供の職場体験というのを非常に重んじてるんですね。教科学習だけじゃなくて、キャリア学習というか。自分が将来どういう風に進むのかとかみたいな。子供達今、自分の進む指針とか夢とかが持てないとかねいわれてて。

それもう、自分の体験できる業種が限られるわけで。なんでもいいですけど。お寿司屋さんに行ったら、お寿司屋さんの体験しかできないわけですね。

ところが、デジビとかデジカメでもいいですけど、持って行ってそれこそ3人1チームで持って行って、そこで撮って戻ってくれば、10、20の業態に各子供たちが行けば、20業種のひとつの、子供たちが見て将来考えるような、一大教材が出来る訳で、なんでも出来るなという気はしますね、私が先生だったらこれやりたいですね。君たち行っただけじゃなくて、君たちの体験を君たちの言葉で語るのもこれもよし、だけど、それをみんなに伝える、みんなで共有するみたいなね。それもまたデジタル化のいいところじゃないですか。

---- 情報レポーターというのだろうか。自分で伝える言葉を発する。これやるとすごくいいんだよね。表現するという事を、半ば強制的にやらせるんじゃなくて、こう引き出させるという。その意味がとても大きくて、その経験値がないと表現する幅も変わってくる、発見する質も変わってくるんですよ。意図的にそういうふうにするといい。

杉浦 本当、子供たちに任せちゃってね。後はもう勝手にやらせる。ビデオの使い方だけ教えてね。

---- 「最後にコメントつけるよー」とか言って。

杉浦 十分だと思いますね。これを数年間続けたら、その学校のライブラリができてですね、まあインターネット上でもいんでしょうけど。興味がある、よくわかんないですけど、まあ3年も4年もつづればかなりのライブラリが出来るでしょうから。おもしろいですよね。

---- そうですね、出来たらいいなという事ですね。

杉浦 そうですね。それはでも、進路指導にも役に立ちますから、実質もあると思いますね。先生方にとっては、

---- それもうやろうと思えば出来ますね。先生の、後は問題。やれる、やると思えば...

杉浦 意思の問題ですね。